

desknet'sとdesknet's NEO(V3.5)の機能比較

2016年3月4日 株式会社ネオジャパン

STD : desknet's スタンダード版、MID : ミドル版、ENT : エンタープライズ版、NEO : desknet's NEO

機能名	種別	No.	該当箇所	STD V7.2	MID V8.0 ENT V8.0	NEO V3.5	desknet's NEO 詳細
全般	一般機能	1	タイムゾーン（時差）設定	×	×	○	各機能に表示される日時が、設定したタイムゾーンに応じて表示されます。 ※（V2.0より）サマータイム（夏時間）に対応しました。
		2	スケジュール等の日付をカレンダーから選択	×	×	○	
		3	ドラッグ&ドロップによるファイル添付	×	×	○	ドラッグ&ドロップ操作でファイルを添付できます。（最大同時10ファイル） 対応ブラウザ・・・Firefox/Chrome/IE10/IE11/Safari 非対応・・・IE8/IE9 ※IE8、IE9はFlashによるファイル選択ダイアログ（複数選択可能）によるアップロードとなります。
		4	マウスのダブルクリックによる変更画面の表示	×	×	○	各機能で登録したデータをクリックすると閲覧画面が表示されますが、編集可能なデータをダブルクリックすると、閲覧画面をスキップして、編集画面を表示することができます。 （例）スケジュール、文書管理、ToDoなど、自分が編集できる項目
		5	スライドメニュー	×	×	○	画面左の取っ手の部分をクリックするとメニューが表示され、従来サブウィンドウに表示されていた項目やメニューのリンク、タブメニューの内容が表示されます。 これに伴い、サブウィンドウは廃止しました。
		6	ティッカー表示による新着情報の通知	×	×	○	通知バーに各機能の新着情報の内容がティッカー形式で表示されます。 ※従来は、機能アイコンの点灯のみ 例：『「海山商事様向け提案書ご確認のお願い」が届きました。』 【対象機能】ToDo、ウェブメール、伝言・所在、ワークフロー、回覧・レポート、電子会議室、アンケート、安否確認
		7	通知アイコンによる新着件数表示	×	×	○	各機能の情報、つぶやき、ダイレクトメッセージ、及び自分に登録された伝言の新着件数が表示されます。
		8	付箋機能をどの画面からでも利用可能	×	×	○	
		9	付箋から自分に届いた伝言の確認	×	×	○	自分に届いた伝言を画面右側の付箋機能からいつでも確認できます。
		10	付箋からメモの登録・編集	×	×	○	
		11	[ユーザー選択 - 履歴機能]	×	×	○	参加者等を選ぶ画面に履歴機能を追加しました。最近選んだユーザーから参加者を選択できます。
		12	[ユーザー選択]ダブルクリックでのユーザー選択	×	×	○	ユーザーを1人選択する形式の画面にて、ラジオボタンを選択して[OK]ボタンで確定する他にも、対象ユーザーをダブルクリックすることで選択できるようになりました。
		13	[ユーザー選択]ユーザー/組織選択画面で、表示していたタブの記憶	×	×	○	ユーザー選択画面のタブ（「検索」、「組織別」、「個人グループ」、「表示グループ」など）を記憶するようになりました。
		14	組織（グループ）の階層管理	×	○	○	MID/ENT・・・10階層まで NEO・・・25階層まで
		15	複数ファイルの一括アップロード	×	○	○	
		16	[ユーザー選択]ユーザー選択時の組織の階層表示	×	○	○	

機能名	種別	No.	該当箇所	STD V7.2	MID V8.0 ENT V8.0	NEO V3.5	desknet's NEO 詳細
		17	ユーザーインターフェースの英語切り替え	×	×	○ V2.0より	PC、タブレット、スマートフォン用のインターフェースを、ユーザーごとに日本語と英語に切り替えられるようになりました。 ※「仮払精算」および「購買予約」は、日本円のみ対応。
		18	短縮URL機能	×	×	○ V2.0より	各機能に保存された情報に直接アクセスできる、「短縮URL」を生成できるようになりました。 ネオツイの短縮URLメニューから、「指定したURL」または「現在開いているページ」へのURLを1クリックで短縮できます。短縮したURLはそれぞれクリック数が集計され、どれだけ参照されたかも確認できます。
		19	高解像度ディスプレイへの対応	×	×	○ V2.0より	ディスプレイのサイズに応じて、画面の表示幅を拡張できるようになりました。15、17インチモニター向け(1024×768)、21インチモニター向け(1600×900)、23インチモニター向け(1920×1080)の3解像度に対応します。
		20	パレットメニュー	×	×	○ V2.0より	タブレットのタッチパネル操作に対応した、新しいメニューを搭載しました。 フォルダ整理にも対応し、デスクネット ネオの各アプリケーションやオプションメニュー、共有ブックマークを載せて利用できます。
		21	ブラウザのタイトルへの新着件数表示	×	×	○ V2.5より	各ページのタイトルに、新着通知の件数表示を追加しました。 ブラウザのタイトルを見るだけで、新着通知の件数を確認することができます。
		22	通知へのタイムゾーン表記	×	×	○ V2.5より	異なるタイムゾーンのユーザーに対し、メールまたは伝言による通知を送る場合に、送信者のタイムゾーン情報を追記するようになりました。
		23	SMTP STARTTLS対応	×	×	○ V2.5より	送信メールサーバー (SMTP) の設定で、通信の保護に「STARTTLS」を選択できるようになりました。Office 365などのメールサービスと組み合わせる利用できるようになります。
		24	100人以上の一括選択	○	×	○ V2.5より	スケジュールの追加や、閲覧・レポートの作成など、複数のユーザーを選択する画面において、検索結果や組織・個人グループの表示が100名を超える場合に、「すべて追加」ボタンですべてのユーザーを追加できるようになりました。
		25	チェックボックス・ラジオボタンの操作性向上	×	×	○ V2.5より	設定画面などで、チェックボックスやラジオボタンの横のテキストをクリックしても選択できるようになりました。
		26	[個人設定]通知アイコン設定	○	○	(仕様変更)	従来の通知アイコンによる新着通知は、「ネオツイ」機能の「お知らせ」機能に変更となりました。それに伴い、通知アイコン設定を廃止しました。通知の設定は、ネオツイの「お知らせ通知設定」にて行えます。
		27	[個人設定]JavaScript使用設定	○	○	(仕様変更)	JavaScript必須となりました。
		28	[個人設定]メニュー表示方法設定	○	○	(仕様変更)	スライドメニューに統合しました。
		29	[個人設定]複数ファイル添付機能の使用有無設定	×	○	(仕様変更)	基本機能になりました。
		30	[検索画面]複数キーワードを指定する際の区切り文字		カンマ	スペース	複数のキーワードを入力する際に、キーワードの間にスペース(全角/半角)を入力する形式に変更しました。

機能名	種別	No.	該当箇所	STD V7.2	MID V8.0 ENT V8.0	NEO V3.5	desknet's NEO 詳細
		31	各画面のボタン命名規則		(仕様変更) V2.0より		登録・更新画面のボタンと画面名を以下の規則により統一しました。 ・書類・文章を作る操作：「作成」（例：「インフォメーションの作成」） ・データを付け足す操作：「追加」（例：「予定の追加」） ・帳簿や原簿に記し載せる操作：「登録」（例：「設備情報の登録」） ・データの変更する操作：「変更」 また、ダイアログのボタンは「OK」「キャンセル」に統一しました。
		32	一覧表示の並べ替えインターフェース		(仕様変更) V2.0より		各機能の一覧表示の並べ替えを、一覧の見出しクリックではなく、並び替えボタンから行うよう変更しました。
		33	[個人設定]ダイエット画面設定	○	○	× (廃止)	
	管理機能	34	CSVインポート/エクスポート画面にて対象項目をドラッグ&ドロップにより順番変更	×	×	○	
		35	CSVインポート/エクスポート時の、文字コード（シフトJIS、UTF8）・区切り文字（カンマ、タブ）選択	×	×	○	
		36	各機能の利用者画面と管理画面での管理者の権限	共通		利用者画面と 管理画面の分離	各機能に登録データの管理画面を設け、利用者画面と分離しました。利用者画面では管理者権限を行使できず、意図しない誤操作や、不必要な情報が全て見えてしまうといったことを防ぎます。 [例]自分以外が作成したスケジュールを・・・ (1) 利用者画面から表示した場合⇒閲覧のみ可 (2) 管理画面から表示した場合⇒編集・削除が可能
		37	全機能の設定項目を1画面にまとめた「設定メニュー」	×	×	○ V3.5より	全機能の設定項目を1画面にまとめた「設定メニュー」を追加しました。操作に迷うことなく、スムーズに設定を行えるようになります。 一般ユーザーは「個人設定」の各設定項目が表示され、管理者は、「個人設定」に加え、「機能管理」や「システム管理」の設定項目が表示されます。
ポータル	一般機能	38	幅の異なるコンテンツの複数組み合わせ	×	×	○	各パーツを1列から4列のレイアウトで配置でき、複数のレイアウトを組み合わせることができます。スケジュールなどの情報量が多い機能などを大きく表示できます。
		39	コンテンツごとの枠の色の変更	×	×	○	
		40	ToDoコンテンツで、各タスクを期限ごとに一覧表示	×	×	○	
		41	コンテンツエディタ	×	×	○ V2.0より	任意のコンテンツを作ってポータルに貼り付けられる、新しいコンテンツエディタが搭載されました。ポータルデザイン設定の「コンテンツ作成」を開き、種別で「リッチテキスト」を選択すると利用できます。テキストの装飾や、他ページへのリンクの挿入、表の作成に加え、キャビネットおよびPCから画像ファイルをアップロードして貼り付けることもできます。 また、V3.0より、キャビネット機能を経由せずに直接アップロードできるようになりました。従来通り、キャビネットにファイルを追加してからの貼り付けにも対応します。
		42	画像編集ツールによるイメージ編集・レタッチ	×	×	○ V3.0より	アップロードした画像に対し、その場で様々な編集を行える、「画像編集ツール」を搭載しました。画像へのテキスト追加や、各種図形（四角、丸、ふきだし、矢印など）の挿入、画像の一部切り出しといった基本的な編集機能のほか、モノクロ・セピア・モザイクといった各種フィルタも適用できます。

機能名	種別	No.	該当箇所	STD V7.2	MID V8.0 ENT V8.0	NEO V3.5	desknet's NEO 詳細
		43	リッチテキストコンテンツへの動画貼り付け・再生	×	×	○ V3.0より	リッチテキストコンテンツの本文に、ローカルに保存された動画ファイルをアップロードして貼り付けられるようになりました。直接アップロードして貼り付けるほか、一旦キャビネットに保存してから貼り付けることも可能です。貼り付けられた動画は、ポータル上に表示され、その場で再生を行います。 ※動画の再生にはHTML5のvideo要素を利用しており、MP4形式、Ogg形式、WebM形式の動画ファイルを利用可能です。
		44	リッチテキストコンテンツ編集時の自動保存	×	×	○ V3.0より	リッチテキストコンテンツの作成/変更中、定期的に自動保存を行う機能が搭載されました。自動保存が行われた後、リッチテキストコンテンツを保存せずに編集画面を閉じた場合、自動保存されたデータがシステム内部に保存され、次にリッチテキストコンテンツ作成/変更画面を開いた際に、編集中心だった内容を回復することができます。
		45	タブメニューによる外部URLのdesknet's画面内表示	○	○	(仕様変更)	「オプションメニュー」に統合しました。
		46	リッチテキストエディタの変更	(仕様変更) V3.0より			リッチテキストエディタ（書式付きテキストエディタ）に利用していたライブラリを変更しました。これにより、特定のブラウザにおける日本語入力の安定性が向上しました。
		47	ウェブ検索（Excite/Yahoo/Google）	○	○	×	(廃止)
		48	個人ポータル、グループポータルのコンテンツごとの開閉	○	○	×	(廃止)
管理機能		49	共通コンテンツへのアクセス権設定	×	○	○	アクセス件のあるユーザーのみ、ポータルに該当コンテンツが表示されます。desknet's NEOではアクセス権としてロール（役割）を指定できます。
		50	ポータル機能管理者の任命	×	×	○	従来のミドル・エンタープライズ版では、利用者名簿機能のグループ管理者が「グループポータル」の編集権限を持ちましたが、desknet's NEOでは、利用者名簿管理者の兼任ではなく、新たにポータル機能管理者の設定を追加しました。 【STD】 システム管理者：共通ポータルの管理 【MID/ENT】 システム管理者：共通/組織ポータルの管理 利用者名簿のグループ管理者：組織ポータルの管理 【desknet's NEO】 システム管理者：共通/組織ポータルの管理 ポータル機能管理者：共通/組織ポータルの管理、ネオツイの管理 所属組織のみのポータル機能管理者：組織ポータルの管理 利用者名簿機能管理者：利用者名簿機能の管理のみ 機能管理者は以下の設定が可能です。 [共通/組織ポータルの各種設定、デザイン設定]、[共有ブックマークの作成、変更、削除] ※所属組織のみ権限が与えられている機能管理者は、組織ポータルのデザイン設定のみ利用できます。 ※（V2.0より）ポータル機能管理者は、ネオツイの機能管理も行えるようになりました。
		51	コンテンツをスクロール表示させない設定の追加	×	×	○ V2.0より	インフォメーション、伝言・所在（所在一覧）、ToDo、ブックマークコンテンツに、データをスクロールさせず全件表示する「コンテンツの高さ」オプションを追加しました。
		52	コンテンツの表題の表示・非表示オプションの追加	×	×	○ V2.0より	各コンテンツの一覧の表題（見出し）を非表示に設定できるようになりました。
		53	組織ポータルの別部署への公開	×	×	○ V2.0より	組織ポータルを、自部署以外にも公開できるようになりました。 「総務ポータル」や「広報ポータル」など、目的別のポータルを全社に向けて公開するような使い方ができるようになります。

機能名	種別	No.	該当箇所	STD V7.2	MID V8.0 ENT V8.0	NEO V3.5	desknet's NEO 詳細
		54	メニューのカスタマイズ	×	×	○ V2.5より	共通ポータル、組織ポータルのメニューコンテンツに、オプションメニューを追加できるようになりました。オプションメニューの設定に、メニューコンテンツ用の画像ファイル設定が追加されます。それぞれのアイコンは、ユーザーの権限や部署、役職などにより設定で表示・非表示を切り替えられます。部門ポータルごとにメニューをカスタマイズできるので、共通ポータルには全社員対象のメニューを表示、また部門ポータルには組織に関連するメニューを表示、という形で使い分けられます。
		55	共通ポータル・組織ポータル・個人ポータル上でのドラッグ&ドロップによるコンテンツの移動	○	○	(仕様変更)	誤操作防止のため、利用画面上でのコンテンツ移動は不可となりました。コンテンツの配置はポータルデザイン設定画面にて行えます。
		56	[ブックマーク]アイコンサイズ	14×14ピクセル		16×16 ピクセル	
		57	[ブックマーク]「オプションメニューへの表示」設定	○	○	×	(廃止) ブックマークをオプションメニューに表示する設定は廃止となりました。オプションメニューの管理は、管理者設定-画面デザイン設定より行うことができます。
ネオツイ	一般機能	58	ソーシャル機能（簡易メッセージ・新着通知）	×	×	○	
		59	【つぶやき機能】つぶやきの投稿、及び一覧での参照・検索	×	×	○	画面上部のバーを開くと表示される窓から、つぶやき（140文字以内の短文メッセージ）を投稿できます。画像等を添付することも可能です。また、一覧に誰のつぶやきを表示するかを選ぶことができます。
		60	【ダイレクトメッセージ機能】1対1の簡易メッセージ、およびファイルの送受信	×	×	○	・ユーザーを指定して、メッセージのやりとりを行えます（500文字以内）。 ・（V2.0より）メッセージにファイルを添付して送信できるようになりました。 ・（V2.0より）メッセージを交わしている相手ごとにまとめてメッセージが表示されるようになりました。相手から新着メッセージがある場合は、背景が緑色で表示されます。会話は吹き出し状で表示されるようになりました。
		61	【お知らせ機能】各機能の新着情報を一覧表示	×	×	○	対象機能：ToDo、ウェブメール、伝言・所在、ワークフロー、回覧・レポート、インフォメーション、電子会議室、アンケート、安否確認 ※インフォメーションはV2.0より。
		62	【お知らせ機能】お誕生日通知機能	×	×	○	誕生日に近いユーザーを、お祝いのメッセージとともに定期的にお知らせすることができます。 ※プロフィールに生年月日が設定されているユーザーのみ通知されます。
		63	【ダイレクトメッセージ機能】絵文字/スタンプの送信	×	×	○ V2.0より	ダイレクトメッセージに、絵文字とスタンプが搭載されました。絵文字は、携帯電話の絵文字のように、テキストメッセージの好きな場所に挿入して送信できます。スタンプは、様々な感情を表したイラストから好きなものを選んで、相手に送信できます。
	64	【ダイレクトメッセージ機能】ダイレクトメッセージのキャビネット保存	×	×	○ V2.0より	やりとりをしているユーザー単位で、ダイレクトメッセージの会話内容をキャビネットへ保存できます。	
	管理機能	65	ユーザー別のつぶやき一覧表示・削除	×	×	○	
66		つぶやき、ダイレクトメッセージの利用有無設定	×	×	○		
67		保存期間の設定	×	×	○ V3.0より	ネオツイのつぶやきおよびダイレクトメッセージの保存期間を、それぞれ1ヶ月～36ヶ月、または無期限から設定できるようになりました。管理者設定>データの保存期間設定から設定できます。	
スケジュール	一般機能	68	予定ごとの色分け	×	×	○	
		69	予定の閲覧画面	×	×	○	予定の閲覧画面を追加しました。見やすい表示で予定を確認できます。

機能名	種別	No.	該当箇所	STD V7.2	MID V8.0 ENT V8.0	NEO V3.5	desknet's NEO 詳細
		70	一覧画面にて、予定の簡易詳細をポップアップ表示	×	×	○	組織週間などの一覧画面で予定の内容をポップアップ表示できるようになりました。
		71	六曜表示（個人月間画面）	×	×	○	表示設定画面から六曜の表示有無を指定できます。
		72	定期的な予定登録時の曜日指定、回数指定	×	×	○	定期的な予定の設定項目を追加しました。「毎週 火/木」、「毎月第一月曜」などの設定が可能です。また、終了日は日付指定の他にも、「10回繰り返す」といった回数指定が可能です。
		73	設備選択の際に、空いている設備のみを表示	×	×	○	
		74	組織1日画面にて、時間軸をマウスのドラッグ操作でスライド	×	×	○	時間変更ボタンを都度クリックすることなく、マウスのドラッグ操作のみで、一日の予定を閲覧できます。
		75	他の利用者のスケジュール印刷用表示	×	×	○	月間表示のカレンダー形式印刷機能にて、自分以外のユーザーの予定を印刷できるようになりました。
		76	スケジュール一覧画面からのメール作成	×	×	○	スケジュールの組織週間、組織1日画面から、直接各ユーザーへのメール送信画面を表示できるようになりました。 ※従来は伝言の登録機能のみ。
		77	予定複写時の登録先の引き継ぎ	×	×	○	予定を複写して追加する際に、参加者を引き継げるようになりました。
		78	設備選択時の、設備の写真表示	×	×	○	予定の登録画面で設備を選択する際に、設備の写真を表示できるようになりました。
		79	キャビネット連携	×	×	○	予定の内容をキャビネット機能に保存できるようになりました。
		80	空き状況検索で、自分以外の利用者からの空き状況検索	×	×	○	自分自身を検索対象から外し、他ユーザーのみを対象とした空き状況検索が可能となりました。 代理で予定を調整される方が、会議に参加する方のみの予定を確認して、会議日程を調整できます。
		81	来訪者を設定する際に、自分以外のユーザーを指定	×	×	○	スケジュールを代理で登録する場合などに、受付担当者から連絡を受ける人を指定することができます。
		82	予定登録・変更画面で、開始時間を変更時に、自動的に終了時間も調整	×	×	○	予定登録・変更画面にて、開始時間と終了時間が入力されている場合、開始時間を変更すると、自動的に終了時間も変更され、両方を変更する手間なく、予定の時刻を調整できるようになりました。
		83	空き状況検索画面で、設備も同時に検索	×	○	○	
		84	空き状況詳細検索	○	○	(仕様変更)	「空き状況検索」機能に統合しました。
		85	アクセス権設定時の「個人グループ」自体の追加	○	○	(仕様変更)	個人グループ自体の指定ではなく、個人グループに所属するユーザーを指定できます。
		86	Googleカレンダー連携	○(※)	×	×	※[2014/12/8]desknet'sスタンダード版/ライト版のスケジュール機能で、Googleカレンダーとの連携がご利用いただけなくなっております。該当製品ならびに、desknet's NEOにおいても「Googleカレンダー連携」の提供は現状行わないということになりました。 ご了承いただけますようお願いいたします。 尚、パートナー様から連携ソリューションとして提供しておりますので詳細はお問合せください。
		87	登録先選択および設備予約状況画面での予定内容表示	○	○	○ V2.0より	登録先選択画面および利用設備の予約状況画面から、予定をクリックして内容を表示できるようになりました。
		88	ユーザーの絞り込み表示	×	×	○ V2.0より	組織1日、組織週間表示で、任意のユーザーを選択して絞り込み表示ができるようになりました。絞り込んだユーザーを対象に予定を追加できます。
		89	予定削除時の参加者への通知	×	×	○ V2.0より	予定を削除する際、予定の参加者に対してメールや伝言で通知を行うことができるようになりました。

機能名	種別	No.	該当箇所	STD V7.2	MID V8.0 ENT V8.0	NEO V3.5	desknet's NEO 詳細
		90	「終日」予定の1クリック指定	×	×	○ V2.0より	終日 (0:00~24:00) の予定を、チェックボックスをクリックするだけで指定できるようになりました。
		91	ポータルに任意ユーザー・組織のスケジュールを表示	×	×	○ V2.0より	ポータルのスケジュールコンテンツに、任意のユーザー・組織のスケジュールを表示できるようになりました。ログインしているユーザーや所属する部署に関わらず、特定のユーザー・組織のスケジュールを常に表示できます。
		92	他のユーザーから登録された予定の内容変更/削除	○	○	(仕様変更) V2.0より	従来、複数人が参加する予定において、予定登録者以外の参加者が、自分の予定の内容だけを変更することができましたが、予定を登録された側のユーザーが自分の予定を変更することはできません。 ※予定の変更は予定の登録者および、予定を登録したユーザーに対して、変更のアクセス権を持つユーザーだけが変更可能です。
		93	ドラッグ&ドロップでの追加・変更	×	×	○ V2.5より	予定が登録されていない領域をマウスでドラッグすることで、選択した期間の予定を登録することができるようになりました。 組織/個人1日表示では、登録されている予定の開始時間、終了時間を、マウスのドラッグ操作で変更できます。また、組織週間/個人週間/個人月間表示では、予定をドラッグ&ドロップで別の日に移動できます。
		94	選択ユーザー予定表示 (1日/週間) の追加	×	×	○ V2.5より	任意の複数ユーザーを選んで、予定の1日/週間表示を行うことができます。ユーザーの表示順は、選択の際にドラッグ&ドロップで並べ替えることができます。
		95	個人1日表示の印刷	×	×	○ V2.5より	1日分のスケジュールを印刷できるようになりました。予定を持ち出す場合や、予定を貼り出す場合などに利用できます。
		96	空き状況検索で、複数設備を選択した場合の検索対象	機能なし	すべての設備、または各設備	選択したすべての設備、いずれか1つ以上 (V2.5より)	MID/ENT: 指定したすべての設備に共通して空いている時間、または、指定した設備の一つずつプルダウンで切り替えて、空いている時間を検索できます。 desknet's NEO: V2.5より、空き状況のAND/OR検索が可能となりました。 空き状況検索で複数の設備を検索する際、指定したすべての設備に共通して空いている時間を探るか、もしくは指定した設備から1つでも空いている時間を探るかを選択できます。
		97	他ユーザーの予定検索	×	×	○ V2.5より	予定検索の条件に「対象者」が追加されました。他のユーザーの予定を検索することができます。
		98	ページ切替時の動作改善	×	×	○ V2.5より	組織1日/組織週間表示で、ユーザーのチェックボックスを選択した後にページを切り替えても、選択状態が維持されるようになりました。
		99	シークレット機能の拡張	×	×	○ V2.5より	シークレット機能を拡張し、予定1件ずつに対して、より柔軟なアクセス権を設定できるようになりました。予定の閲覧先として、「すべてのユーザー」、「登録先のみ」、「選択ユーザー」から選択することができます。
		100	空き状況検索の結果表示	×	×	○ V2.5より	空き状況検索の結果表示画面で、設備に予約が入っている時間帯は、「予定あり」ではなく設備の予約制限と同じ色で表示するようになりました。
		101	交通費・経費精算機能 (有償オプション)	×	×	○ V3.0より	予定の登録と同時に訪問先までの交通経路を検索し、交通費や経費を蓄積して経費精算申請を行える「交通費・経費精算」機能を搭載しました。
		102	印刷用表示の調整	×	×	○ V3.0より	サブウィンドウ>印刷用表示で、予定名称や内容が横に長かった場合に、途中で折り返さず、ページ幅いっぱいまで表示するよう修正しました。
		103	ウェブメールとの連携	×	×	○ V3.5より	予定の内容をもとに、メールを作成できるようになりました。予定の詳細画面から「メール」を押すと、メールの作成画面が表示されます。
		104	議事録との連携	×	×	○ V3.5より	予定の詳細画面、概要ポップアップから、議事録を作成できるようになりました。

機能名	種別	No.	該当箇所	STD V7.2	MID V8.0 ENT V8.0	NEO V3.5	desknet's NEO 詳細
	管理機能	105	予定ポップアップへの利用設備表示	×	×	○ V3.5より	各カレンダー画面にて、予定をクリックした時に表示されるポップアップに「利用設備」を追加しました。
		106	「組織1日」「組織週間」「個人週間」画面の印刷用表示	×	×	○ V3.5より	「組織1日」「組織週間」「個人週間」画面に、予定をテキスト形式で表示・印刷できる「印刷」リンクを追加しました。
		107	スケジュール機能管理者の任命	×	○	○	「システム管理>管理者設定」画面より管理者を指定できます。
		108	[スケジュール管理]画面での予定データ管理	×	×	○	管理機能に「スケジュール管理」を追加しました。利用者画面との分離により、各ユーザーの予定の編集/削除等の操作は管理画面からのみ行えます。
		109	シークレットスケジュールの「全員参照不可」設定	×	○	○	
		110	スケジュールと設備予約における、スケジュールデータの保有期間、シークレット予定の登録可否、入力時間単位の設定	別		共通	desknet's NEOでは、保有期間、シークレット予定の登録可否、入力時間単位の設定は、スケジュールと設備予約で共通となります。
		111	管理者による承認依頼スケジュールの否認処理	○	○	×	(廃止)
		112	予定項目への予定の色の関連付け	×	×	○ V2.5より	それぞれの予定項目に、「予定の色」の設定を追加しました。予定の追加や変更を行う際、予定項目を選択すると、自動的に予定の色が反映されます。
		113	その他アイコンのファイルサイズ	(仕様変更) V3.0より			スケジュールのその他アイコンのアイコンとして登録できる画像ファイルのファイルサイズの制限を、最大10KBまで拡張しました。
		114	インポート/エクスポートの対象ユーザー/組織の初期値設定	×	×	○ V3.0より	特定のユーザー/組織の、個人一日/個人週間/個人月間を表示した状態で「CSVファイルからインポート」「CSVファイルへエクスポート」を開いた際、表示していたユーザー/組織を、インポート/エクスポート対象として初期設定するようになりました。
		設備予約	一般機能	115	設備の絞込表示	×	×
116	設備の写真表示			×	×	○	設備の写真を登録でき、予約の際に写真を確認できるようになりました。
117	個人設備グループ設定			×	×	○	よく利用する設備を「個人設備グループ」としてまとめられるようになりました。
118	予定削除時の参加者への通知			×	×	○ V2.0より	予定の削除時、参加者に通知できるようになりました。
119	「終日」予約を1クリックで時間指定			×	×	○ V2.0より	終日(0:00~24:00)の予約を、チェックボックスをクリックするだけで指定できるようになりました。
120	予約状況の印刷用表示(週間、月間)			×	×	○ V2.0より	設備の予約状況一覧の印刷用表示(週間、月間)を追加しました。また、月間カレンダー形式の印刷用表示も可能です。
121	ドラッグ&ドロップでの追加・変更			×	×	○ V2.5より	予定が登録されていない領域をマウスでドラッグすることで、選択した期間の予定を登録することができるようになりました。設備群1日表示では、登録されている予定の開始時間、終了時間を、マウスのドラッグ操作で変更できます。また、設備群週間表示では、予定をドラッグ&ドロップで別の日に移動できます。
122	選択設備予定表示(1日/週間)の追加			×	×	○ V2.5より	任意の複数設備を選んで、予定の1日/週間表示を行うことができます。
123	設備1日表示の印刷			×	×	○ V2.5より	1日分のスケジュールを印刷できるようになりました。予定を持ち出す場合や、予定を貼り出す場合などに利用できます。
124	空き状況のAND/OR検索			×	×	○ V2.5より	空き状況検索で複数の設備を検索する際、指定したすべての設備に共通して空いている時間を探すか、もしくは指定した設備から1つでも空いている時間を探すかを選択できます。

機能名	種別	No.	該当箇所	STD V7.2	MID V8.0 ENT V8.0	NEO V3.5	desknet's NEO 詳細
		125	ページ切替時の動作改善	×	×	○ V2.5より	設備群1日/設備群週間表示で、設備のチェックボックスを選択した後にページを切り替えても、選択状態が維持されるようになりました。
		126	利用時間帯がある設備の終日予約	×	×	○ V2.5より	対象設備に利用時間帯が設定されていても、終日予約を行えるようになりました。
		127	シークレットの拡張	×	×	○ V2.5より	シークレット機能を拡張し、予定1件ずつに対して、より柔軟なアクセス権を設定できるようになりました。予定の閲覧先として、「すべてのユーザー」、「登録先のみ」、「選択ユーザー」から選択することができます。
		128	印刷用表示の調整	×	×	○ V3.0より	サブウィンドウ>印刷用表示で、利用目的や内容が横に長かった場合に、途中で折り返さず、ページ幅いっぱいまで表示するよう修正しました。
		129	インポート/エクスポート対象設備の初期設定	×	×	○ V3.0より	特定の設備の設備一日/設備週間/設備月間を表示した状態で「CSVファイルからインポート」「CSVファイルへエクスポート」を開いた際、表示していた設備を、インポート/エクスポート対象として初期設定するようになりました。
		130	設備名表示文字数の拡張	×	×	○ V3.5より	各カレンダー画面等の設備名が表示されている箇所にて、設備名の表示文字数を拡張しました。
		131	「設備群1日」「設備群週間」画面の印刷用表示	×	×	○ V3.5より	「設備群1日」「設備群週間」画面に、予約状況をテキスト形式で表示・印刷できる「印刷」リンクを追加しました。
		132	エクスポート対象の一括選択	×	×	○ V3.5より	CSVファイルへのエクスポート時、対象の設備を一括選択できるようになりました。
管理機能		133	シークレット予約の「全員参照不可」設定	×	○	○	
		134	【設備予約管理】画面での予約データ管理	×	×	○	管理機能に「設備予約管理」を追加しました。各予約の閲覧や、変更・削除を行うことができます。
		135	設備の予約制限（管理者による予約承認の必須設定）	×	○	○	設備の予約を制限でき、設備管理者による予約承認を必要とすることが可能になりました。予約制限のある設備を予約した場合、承認されるまで仮予約となります。 【設定名】 MID/ENT：設備の予約制限設定 desknet's NEO：設備の本予約
		136	【設備情報設定】各設備毎に予約可能な期間を日数単位で指定	×	×	○	従来は「1ヶ月先までの予約を可能とする」等、月単位での指定でしたが、「7日先まで」「50日先まで」といった指定が可能になりました。
		137	設備情報の追加編集画面で設備グループに設定されている利用条件を表示	×	×	○	設備を登録する際に、設備グループに設定されている利用条件を確認できます。
		138	【設備グループ情報設定】休日利用設定	×	×	○	設備情報の設定項目との統一により、設備グループ情報の設定においても、休日利用設定（休日の利用可否の指定）を追加しました。
		139	機能管理者による設備グループの登録	×	×	○	
		140	【設備情報設定】利用時間帯を設定する際の終了時刻の入力		任意	必須	利用時間帯の制限を行う際は、終了時刻の入力が必要となりました。
		141	【設備情報インポート】「利用時間帯」の指定方法		時間	時分	旧製品：8時を指定する場合⇒「8」 desknet's NEO：8時を指定する場合⇒「0800」

機能名	種別	No.	該当箇所	STD V7.2	MID V8.0 ENT V8.0	NEO V3.5	desknet's NEO 詳細
		142	予約制限された設備への仮予約の登録時、および、承認・却下時の通知機能	×	×	○ V2.0より	利用に承認が必要な設備に対して予約を登録した際、設備管理者にメールや伝言で自動的に通知できるようになりました。設備管理者が予約を承認または却下（削除）した際は、申請者に対して結果が通知されます。
		143	[設備情報設定]複数設備の管理組織やアクセス権の一括設定	×	×	○ V2.0より	複数設備の管理組織やアクセス権などの設定情報を一括して設定できるようになりました。 【一括設定の対象項目】管理組織、設備グループ、アクセス権、利用時間帯、連続利用可能、最大時間、休日利用、予約可能期間(日数)、設備の本予約
		144	利用目的項目への予定の色の関連付け	×	×	○ V2.5より	それぞれの利用目的項目に、「予定の色」の設定を追加しました。予定の追加や変更を行う際、利用目的項目を選択すると、自動的に予定の色が反映されます。
		145	予約可能期限の日付指定	×	×	○ V2.5より	設備グループおよび設備情報の「予約可能期限」について、「～日後まで予約可能」という日数指定に加え、「～年～月～日まで予約可能」という日付での指定も行えるようになりました。
回覧・レポート	一般機能	146	回覧、及びフォルダのドラッグ&ドロップによる移動	×	×	○	
		147	リッチテキストエディタによる回覧内容の装飾	×	×	○	リッチテキストエディタを搭載しました。フォントサイズや文字の色などの装飾や、表の挿入などを簡単に行うことができます。
		148	コメントの連続確認	×	×	○	回覧に対するコメントが回覧の詳細画面にまとめて表示され、コメントを連続で確認できるようになりました。
		149	返信コメントを1件にまとめて表示	×	×	○	従来は、自分が送信した回覧レポートに複数の返信がある場合、コメントの数ぶん、新着トレイにタイトルが表示されましたが、desknet's NEOでは、1件の新着情報として表示されるよう変更しました。
		150	キャビネット連携	×	×	○	回覧の内容をキャビネット機能に保存できるようになりました。
		151	「表題」「状態」による回覧の検索	×	×	○	回覧の検索項目に「表題」「状態（完了/未完了）」を追加しました。
		152	未確認者に対する通知機能	×	×	○ V2.0より	回覧・レポートの未確認者に対して、メールまたは伝言で回答を促す通知を送ることができるようになりました。
		153	未確認者に対する再回覧機能	×	×	○ V2.0より	回覧・レポートを「複写して作成」する際、通知先を「全員」にするか「未確認者」だけにするかを選択できるようになりました。回覧・レポートの締め切りを過ぎても確認されなかった場合などに、未回答者を対象に再回覧を簡単に行えます。
		154	再送信時の通知先の変更	×	×	○ V2.0より	回覧・レポートを「再送信」する際、元の回覧に指定されていた通知先を追加・削除できるようになりました。再送信する必要がない場合、一部の宛先を間違えて送信してしまった場合などに利用できます。
		155	コメント履歴の絞り込み表示	×	×	○ V2.0より	コメント履歴を「確認済み」「未確認」で絞り込んで表示できるようになりました。
		156	コメント履歴の一括展開	×	×	○ V2.0より	すべてのコメントを一括して展開/閉じることもできるようになりました。
		157	「作成者」への組織名・任意名の指定	×	×	○ V2.0より	回覧・レポートの作成者として、組織名や任意のチーム名などを指定できるようになりました。個人ではなく組織やチームとして発信したい時に利用できます。
		158	通知先への「自分」の指定	×	×	○ V2.0より	通知先に自分を指定できるようになりました。自分自身も確認した履歴を残しておきたい場合に利用できます。

機能名	種別	No.	該当箇所	STD V7.2	MID V8.0 ENT V8.0	NEO V3.5	desknet's NEO 詳細
		159	コメントの制限およびネオツイ通知の制限	×	×	○ V2.0より	コメントの登録を行わせない設定、またコメントが登録された際にネオツイにお知らせしない設定を追加しました。 決定事項の情報共有など、確認の有無のみでコメントは必要ない場合などに使用できます。
		160	コメントを除く閲覧内容のみの印刷	×	×	○ V2.0より	閲覧・レポートの印刷時、コメントを除く内容のみ印刷できるようになりました。 多数の通知先に送信した場合に、無駄なく印刷が行えます。
		161	ポータルコンテンツに締切日を表示	○	○	○ V2.0より	ポータルの閲覧・レポートコンテンツに締切日が表示されるようになりました。
		162	画像のアップロードと本文への貼り付け	×	×	○ V3.0より	閲覧・レポートの本文に、ローカルに保存された画像ファイルをアップロードして貼り付けられるようになりました。直接アップロードして貼り付けるほか、一旦キャビネットに保存してから貼り付けることも可能です。
		163	画像編集ツールによるイメージ編集・レタッチ	×	×	○ V3.0より	アップロードした画像に対し、その場で様々な編集を行える、「画像編集ツール」を搭載しました。画像へのテキスト追加や、各種図形（四角、丸、ふきだし、矢印など）の挿入、画像の一部切り出しといった基本的な編集機能のほか、モノクロ・セピア・モザイクといった各種フィルタも適用できます。
		164	本文への動画貼り付け・再生	×	×	○ V3.0より	閲覧・レポートの本文に、ローカルに保存された動画ファイルをアップロードして貼り付けられるようになりました。直接アップロードして貼り付けるほか、一旦キャビネットに保存してから貼り付けることも可能です。貼り付けられた動画は、本文中に表示され、その場で再生を行えます。 ※動画の再生にはHTML5のvideo要素を利用しており、MP4形式、Ogg形式、WebM形式の動画ファイルを利用可能です。
		165	閲覧・レポート編集時の自動保存・回復	×	×	○ V3.0より	閲覧・レポートの作成/変更中、定期的に自動保存を行う機能が搭載されました。自動保存が行われた後、閲覧・レポートを保存せずに編集画面を閉じた場合、自動保存されたデータがシステム内部に保存され、次に閲覧・レポート作成/変更画面を開いた際に、編集途中だった内容を回復することができます。
		166	ウェブメールとの連携	×	×	○ V3.5より	閲覧・レポートの内容をもとに、メールを作成できるようになりました。
		167	HTML書式の利用（ラジオボタン等の書式部品）	○	○	○ V3.5より	リッチテキストエディタ形式に加えて、書式部品による編集に対応しました。
		168	コメント編集時の通知	×	×	○ V3.5より	一度回答したコメントを編集した場合も、作成者・回答者へ通知されるようになりました。
		169	フォルダ名		(仕様変更)		フォルダ名を以下に変更しました。 ・「新着トレイ」→「新着/未確認」 ・「送信済トレイ」→「作成分」 ・「処理済トレイ」→「確認済み」
		170	表題と書式の統合		(仕様変更)		「表題」と「書式」を、「表題・書式」として統合しました。 閲覧・レポート作成時、表題を選択すると自動的に書式も選択されます。
		171	送信した閲覧を削除した際の挙動		(仕様変更)		削除の挙動を変更しました。自分が作成した閲覧をゴミ箱に移動すると、受信者の「新着/未確認」および「確認済み」からも削除されます。また、ゴミ箱に移動した閲覧を「作成分」フォルダに戻すと、受信者の「新着/未確認」または「確認済み」に再表示されます。 同様に、閲覧・レポートの作成者が削除された場合も、受信者の「新着/未確認」および「確認済み」から削除されます。
		172	リッチテキストエディタの変更		(仕様変更) V3.0より		リッチテキストエディタ（書式付きテキストエディタ）に利用していたライブラリを変更しました。これにより、特定のブラウザにおける日本語入力の安定性が向上しました。
		173	フラグ機能	○	○	×	(廃止)

機能名	種別	No.	該当箇所	STD V7.2	MID V8.0 ENT V8.0	NEO V3.5	desknet's NEO 詳細
	管理機能	174	回覧書式の下書き保存	×	×	○	編集途中の書式を一時保存し、公開するまでは書式を使用させない設定が可能になりました。
		175	グループ書式設定	○	○	×	
		176	グループ通知先設定	○	○	×	
ToDo	一般機能	177	タスクの締切に時間を指定	×	×	○	
		178	タスクの閲覧画面	×	×	○	
		179	タスク閲覧画面の完了ボタンによるタスクの完了	×	×	○	従来は、終了したタスクの終了フラグにチェックをする必要がありましたが、desknet's NEOでは、タスク閲覧画面から完了ボタンを押すことで、タスクを完了できます。
		180	スケジュール上でToDoを状態別にアイコン表示	×	×	○	スケジュール上に表示されるToDoのアイコンが「完了」「重要度」の状態に応じて変わります。
		181	キャビネット連携	×	×	○	タスクの内容を、直接キャビネット機能に保存できるようになりました。
		182	ラベルの貼り付けによるタスクの分類	×	×	○	ラベルは、ドラッグ&ドロップでタスクに貼り付けることができます。
		183	期限当日のタスクを「ネオツイ」のお知らせ機能にて通知	×	×	○	期限当日で完了していないタスクを画面上部のティッカー表示で通知できます。
		184	個人設定にて、ToDoトップページの一覧に表示するタスクの表示件数を期限別に設定可能	×	×	○	各期限ごとに（「今日」「明日」「明後日以降」「期限切れ」「完了したタスク」）タスクを何件ずつ表示するかを設定できます。
		185	タスクのタイトル	○	○	(仕様変更)	タイトル欄と内容欄を統合しました。内容欄の1行目がタスクのタイトルとなります。
		186	個人設定の設定項目名称	登録可能ユーザー設定		アクセス権設定	
		187	タスクの開始予定日の指定	○	○	×	
		188	タスクの警告設定（ToDo一覧画面での締切日の強調表示）	○	○	×	
		189	一覧画面での添付ファイル有無の表示	○	○	×	
	管理機能	190	[ToDo管理]画面	×	×	○	管理機能に「ToDo管理」を追加しました。各ユーザーのタスクの閲覧・削除を行えます。
ウェブメール	一般機能	191	フォルダの階層管理	×	×	○	フォルダを複数階層で管理できるようになりました。
		192	ドラッグ&ドロップによる、メール・フォルダの移動	×	×	○	
		193	右クリックによるメニュー操作	×	×	○	マウスの右クリックでメールやフォルダの操作メニューが表示されるようになりました。
		194	ショートカットキーによる操作	×	×	○	パソコンのキーボードでメールを操作できるようになりました。 (例) [上下キー]: 前後のメールを表示、[Enter]: 閲覧画面を表示、[Delete]: 選択中メールの削除、[Shift+クリック]: 現在行からクリックした行までを選択、[Ctrl+クリック]: クリックした行の選択状態切り替え、[F2]: 選択しているフォルダの名前変更
		195	Internet Explorer以外のブラウザでのリッチテキストエディタの使用	×	×	○	従来はInternet Explorer以外のブラウザの場合、HTML書式部品を組み合わせる形式でしたが、desknet's NEOでは、Firefox / Chrome / Safariにおいても同様のエディタで装飾を行えます。

機能名	種別	No.	該当箇所	STD V7.2	MID V8.0 ENT V8.0	NEO V3.5	desknet's NEO 詳細
		196	メールのAND検索（複数のキーワードを含むメールの検索）	×	×	○	メールのAND検索ができるようになりました。空白を入力し、2つ以上のキーワードを指定すると、キーワードすべてに該当するメールのみを検索できます。 ※従来は、2件以上のキーワードを指定した場合、いずれかのキーワードを含むメールが検索結果に表示されます。
		197	検索時の条件として「未開封のみ」「フラグ付き」を指定可能	×	×	○	キーワードや指定期間に一致したメールのうち、未読のものや、フラグ付きのメールのみを表示することができます。
		198	キャビネット連携	×	×	○	メールの内容をキャビネット機能に保存できるようになりました。
		199	簡易検索ウィンドウ	×	×	○	簡易検索窓を追加しました。キーワードの入力だけで、メールを検索できます。
		200	Gmail/Yahoo!メールのアカウントを利用可能	×	×	○	メールアカウントを作成する際に、Gmail・Google Apps / Yahoo!メールのアカウントを利用できるようになりました。
		201	フィルタを手動で実行	×	×	○	選択したメールのうち、条件に一致するメールのみを指定したフォルダに振り分けることができます。
		202	添付ファイルの一括ダウンロード	×	×	○	メールに複数のファイルが添付されている場合、まとめてダウンロードできます。
		203	ドラッグ&ドロップによるファイルの添付	×	×	○	ドラッグ&ドロップ操作でファイルを添付できます。（最大同時10ファイル） 対応ブラウザ・・・Firefox/Chrome/IE10/Safari 非対応・・・IE8/IE9 ※IE8、IE9はFlashによるファイル選択ダイアログ（複数選択可能）によるアップロードとなります。
		204	メールを既読にするための条件を設定可能	×	×	○	以下のように既読にする条件を設定できます。 「最終行を表示したとき既読にする」「メールを表示した瞬間に既読にする」「表示後○秒後に既読する」
		205	全員へ返信する際の宛先設定	×	×	○	返信元のメールの宛先に指定されていた各宛先を、返信メールの[宛先]または、[CC]のどちらに指定するかを設定できます。
		206	転送方法設定	×	×	○	メールを転送する際に、元のメール内容を本文に含めるか、内容をファイルとして添付するかを設定できます。
		207	添付された「eml」形式ファイルの閲覧	×	×	○	メールファイル（拡張子：「.eml」）が添付されている場合、添付をクリックすることで、内容を閲覧できます。
		208	メール作成時の使用言語選択	×	×	○	
		209	メール作成画面での印刷用表示	×	×	○	
		210	1つのメールアカウントを、複数のメンバーで共有	×	×	○	1つのメールアカウントを、複数のメンバーで共有できるようになりました。部署の代表アドレスやサポート窓口のアドレスをメンバー間で共有することで、対応状況を共有し、二重対応を防止できます。
		211	【複数ウィンドウ表示】メール一覧、閲覧画面、作成画面の同時表示	×	○	○	メールの一覧画面や閲覧画面、作成画面を同時に開くことができ、内容を確認しながら、メールを作成できます。 また、ウェブメール機能はブラウザの新しいタブで開くため、スケジュールなどを確認しながらメールを処理することも可能です。
		212	複数ファイルの一括添付	×	○	○	ファイルのアップロード画面で、マウスで複数のファイルを選択し、一括でアップロードできます。
		213	メールをゴミ箱に入れた日付を基準に、指定期間経過後に自動削除	×	○	○	ゴミ箱に入れたメールを自動削除する設定にて、「ゴミ箱に入った日付から○日経過後」に削除できるようになりました。
		214	共有メールアカウント機能	×	×	○ V2.0より	1つのメールアカウントを、複数のメンバーで共有できるようになりました。 部署の代表アドレスやサポート窓口のアドレスをメンバー間で共有することで、対応状況を共有し、二重対応を防止できます。

機能名	種別	No.	該当箇所	STD V7.2	MID V8.0 ENT V8.0	NEO V3.5	desknet's NEO 詳細
		215	ポータルへの共有アカウントのコンテンツ表示	×	×	○ V2.0より	ポータルにウェブメール（共有アカウント）のコンテンツを追加しました。
		216	【誤送信防止】メールの送信前チェック機能の搭載	×	×	○ V2.5より	メールを送信する前に、作成したメールの内容を表示して、宛先の間違いや、本文のミスなどを気づかせることができます。オプション設定により、送信者にそれぞれの内容をチェックさせることもできます。 また、V3.0より、宛先やタイトルなど、どの項目をメール送信前に表示/チェックさせるかを管理者がカスタマイズできるようになりました。
		217	【誤送信防止】メール送信取り消し機能の搭載	×	×	○ V2.5より	メールを送信後、一定時間内であれば「取り消し」からメールの送信を取り消すことができます。送信してから取り消しできるまでの時間を細かく調整することもできます。
		218	テンプレート機能の追加	×	×	○ V2.5より	宛先やメール本文を指定したメールのひな形を、テンプレートとして保存できるようになりました。テンプレートから、メールを新規作成することができます。よく使うあいさつ文や、よく送る相手などをテンプレートとして保存しておくことで、メール作成の効率が大幅に向上します。
		219	リンククリック時のURL確認画面	×	×	○ V2.5より	本文中に記載されたURLやリンクをクリックした際、すぐにリンク先を開かず、一旦リンク先のURLを表示して確認を促すようになりました。迷惑メールなど悪意のあるメールのリンクを不用意に開かれることを防ぎます。
		220	メールデータのインポート	×	×	○ V2.5より	eml形式のファイルをアップロードして、任意のフォルダにメールをインポートできるようになりました。フォルダの右クリックメニューから「インポート」を選択し、ドラッグ&ドロップでは1度に10ファイルずつ、ファイル選択画面からは10ファイル以上をまとめてインポートできます。
		221	署名を挿入する位置のカスタマイズ	×	×	○ V2.5より	署名の挿入位置を、本文の先頭または本文の末尾から選択できるようになりました。
		222	2ペインレイアウトの追加	×	×	○ V2.5より	メールのプレビューを行わず、フォルダ一覧、メール一覧のみ表示する、2ペインレイアウトを追加しました。不用意にメールを開いてしまうことを防ぎます。
		223	利用者名簿のオートコンプリート	×	×	○ V2.5より	メール作成画面の宛先、CC、BCC欄に、キーボードでアドレスを入力した際、アドレス帳に加え利用者名簿からも、対象のアドレスを検索し、候補として表示するようになりました。
		224	メール新規作成時のアカウント自動選択	×	×	○ V2.5より	メールの新規作成時、現在フォルダを開いているアカウントが差出人として初期設定されるようになりました。
		225	宛先のドラッグ&ドロップによる並べ替え	×	×	○ V2.5より	メール作成時の宛先選択画面で、選択した宛先をドラッグ&ドロップで並べ替えられるようになりました。
		226	役職名、メールアドレスによるアドレス検索	×	×	○ V2.5より	メール作成時の宛先選択画面で、利用者名簿検索欄から役職名、メールアドレスでも検索できるようになりました。
		227	メール検索欄の操作性向上	×	×	○ V2.5より	メール一覧上の検索欄にテキストを入力している間にも、検索を行うようになりました。
		228	メール検索条件の追加	×	×	○ V2.5より	メールの検索で、「既読メールのみ」「ファイルが添付されたメールのみ」を対象に検索できるようになりました。
		229	添付ファイル名表示の改善	×	×	○ V2.5より	メール作成・メールプレビュー・メール詳細の各画面において、添付ファイル名を省略せず拡張子まで表示します。長いファイル名の場合は、ポップアップして表示します。
		230	mailtoリンク処理の改善	×	×	○ V2.5より	subject、bodyなどのパラメータが含まれるmailtoリンクを正しく処理できるようになりました。

機能名	種別	No.	該当箇所	STD V7.2	MID V8.0 ENT V8.0	NEO V3.5	desknet's NEO 詳細
		231	チェックボックス選択への対応	○	○	○ V2.5より	チェックボックス選択で、複数のメールを選択できるようになりました。 表題にあるすべて選択チェックボックスを使用すると、画面に表示されているすべてのメール、またフォルダ内にあるすべてのメール（100件以上可）を一括選択できます。
		232	送信前のプレビュー表示	○	○	○ V2.5より	
		233	IMAPメールサーバー対応	×	×	○ V3.0より	ウェブメールがIMAPメールサーバーに対応しました。IMAPサーバー上のメール参照、フォルダ参照・編集、送信済みメールの保存などが行えます。 IMAPメールサーバーに対応したウェブメールは「ウェブメールIMAP」という機能名で提供され、従来の「ウェブメール」といづれか（または両方）を選択して利用することができます。「ウェブメールIMAP」は、スマートフォンインターフェースでも利用できます。
		234	メール送信前の表示/チェック時に社外アドレスを強調表示	×	×	○ V3.0より	メール送信前の確認画面で、宛先/CC/BCCを表示またはチェック必須としている場合に、送信先ホワイトリストに設定されていないドメインの宛先を強調表示するようになりました。誤ってメールを社外に送信してしまうミスを減らせます。
		235	メール送信前のチェック時に社内アドレスのチェックを免除	×	×	○ V3.0より	メール送信前の確認画面で、宛先/CC/BCCのチェックを必須としている場合に、送信先ホワイトリストに設定されているドメインについては、宛先のチェックを省略できる設定が追加されました。
		236	メール送信前の表示/チェック時に大量アドレス送信を警告	×	×	○ V3.0より	メール送信前の確認画面で、宛先/CCに一定数のアドレスが指定されている場合に、BCCでの送信を促す警告メッセージを表示することができるようになりました。ダイレクトメールの送信時など、顧客メールアドレスの漏えいを未然に防ぎます。大量アドレスとする件数は、ウェブメール>システム管理の誤送信防止設定から設定できます。
		237	メール編集時の自動保存・回復	×	×	○ V3.0より	メールの編集で、定期的に自動保存を行う機能が搭載されました。自動保存が行われた後、メールを送信または保存せずに編集画面を閉じた場合、自動保存されたデータがシステム内部に保存され、次にメール作成画面を開いた際に、編集中だった内容を回復することができます。
		238	各アプリケーションとの連携	×	×	○ V3.5より	ウェブメールから以下の機能に連携できるようになりました。 ・スケジュール ・回覧・レポート ・インフォメーション
		239	前後のメールへの切り替え	○	○	○ V3.5より	メール詳細画面から前後のメールに移動できるようになりました。メール画面のレイアウトを2ペインで利用している場合などに、よりメールを効率的に処理できます。
		240	メールダウンロード時のファイル名改善	○	○	○ V3.5より	メールダウンロード時の.emlファイル名に件名を追加しました。
		241	自動受信間隔の拡張	×	×	○ V3.5より	自動受信間隔の選択肢に「10分」を追加しました。個人設定の自動受信設定から、受信間隔を「10分毎」「30分毎」「1時間毎」「2時間毎」「3時間毎」「4時間毎」のいずれかか、時刻指定にて設定できます。
		242	メール検索対象	複数選択可		単一またはすべて	【旧製品】：「差出人」「宛先/CC」「件名」「本文」から1～4件選択し、それぞれに該当するメールを検索 【desknet's NEO】：「差出人」「宛先/CC」「件名」「本文」のいずれかを選択、もしくは「いずれかの項目から検索」を選択し、該当するメールを検索

機能名	種別	No.	該当箇所	STD V7.2	MID V8.0 ENT V8.0	NEO V3.5	desknet's NEO 詳細
		243	アカウントごとの受信フォルダの設定	○	○	(仕様変更)	アカウントごとに「受信トレイ」「送信トレイ」等が作成されるようになりました。
		244	メールフォルダの表示順変更	○	○	(仕様変更)	フォルダは名前順で表示されます。
		245	返信時の件名への「Re:」付加方法		(仕様変更) V2.0より		メール返信時、件名の「Re:」の後に半角スペースを1つ追加しました。
		246	署名挿入タイミングの変更		(仕様変更) V2.5より		本文に署名を挿入するタイミングを、メール送信時からメール作成時に変更しました。
		247	リッチテキストエディタの変更		(仕様変更) V3.0より		リッチテキストエディタ（書式付きテキストエディタ）に利用していたライブラリを変更しました。これにより、特定のブラウザにおける日本語入力の安定性が向上しました。
		248	フィルタ機能による添付ファイルの自動キャビネット登録	○	○	× (廃止)	
	管理機能	249	SSL対応	×	×	○	メールの通信を暗号化するPOP over SSL、SMTP over SSLに対応しました。これにより、SSL接続が必要なGmail・Google Appsや、Yahoo!メールなどのクラウドメールサービスをメールサーバーとして利用できるようになりました。
		250	メール索引の最適化機能	×	×	○	メール索引データベース内の不要な情報を掃除する機能を追加しました。
		251	管理権限の委譲	×	×	○	ウェブメール機能の管理者を指定できるようになりました。
		252	各ユーザーの使用容量の一覧表示	×	×	○	ウェブメールの各ユーザーの容量設定画面から、ユーザーごとの使用容量を確認できるようになりました。
		253	容量設定にて、全員に適用する初期値を設定可能	×	○	○	
		254	ユーザーごとのメール利用状況の確認	×	×	○ V2.0より	ウェブメールの各ユーザーの容量設定画面から、ユーザーごとの使用容量を確認できるようになりました。
		255	古いメールを受信サーバーから削除	×	×	○ V2.5より	受信してから一定期間の経ったメールを、受信サーバーから自動的に削除できるようになりました。
		256	最終受信日時を表示	×	×	○ V2.5より	個人/共有アカウントの管理画面から、各アカウントの最終受信日時を確認できるようになりました。
		257	共通設定画面の項目名・順序改善	×	×	○ V2.5より	共通設定画面の項目名および並び順を、よりわかりやすく見直しました。
		258	共有メールアカウントの設定変更	×	×	○ V2.5より	ウェブメールの共通設定で「ユーザー毎のアカウント設定」を「許可しない」で利用している場合でも、システム管理者および機能管理者であれば共有メールアカウントの設定を変更できるようになりました。
		259	メール送受信ログの出力	×	×	○ V3.0より	アカウント設定の「受信時のログ」「送信時のログ」から、メール送受信時のメールサーバーとの通信ログを出力できるようになりました。メール送受信処理でエラーなどが発生した場合の問題解決に役立ちます。
		260	誤送信防止設定画面の新設	×	×	○ V3.0より	ウェブメール>システム管理に「誤送信防止設定」と「送信先ホワイтлиスト設定」を新設しました。「誤送信防止設定」では、メール送信前の確認と送信の取り消しに関する設定が、また「送信先ホワイтлиスト設定」では、メール送信前の確認に使用するドメイン名のホワイтлиスト設定が行えます。
		261	メール保存サイズの拡張	×	×	○ V3.5より	各ユーザーの容量設定で、「保存サイズ」に設定できる上限値を拡張しました。最大99,999MBまで設定可能です。
		262	メールデータの整合処理	○	○	× (廃止)	メールデータの保存形式変更に伴い、「メールデータの整合処理」を廃止しました。

機能名	種別	No.	該当箇所	STD V7.2	MID V8.0 ENT V8.0	NEO V3.5	desknet's NEO 詳細
		263	[アカウント設定]「新着マーク」、「受信フォルダ」項目	○	○	× (廃止)	仕様変更に伴い、設定項目を廃止しました。
		264	[アカウントのインポート/エクスポート]「新着マーク」、「受信フォルダ」項目	○	○	× (廃止)	仕様変更に伴い、設定項目を廃止しました。
アドレス帳	一般機能	265	個人アドレス/共有アドレスを纏めてツリー表示	×	×	○	
		266	共有アドレスのアクセス権設定	×	×	○ V2.0より	共有アドレスごとにアクセス権限を設定できるようになりました。 特定の部署・メンバーでのみ利用できる共有アドレスを登録、利用できます。
		267	検索方法	キーワード入力および、 検索対象の選択 検索対象：5項目		キーワード入 力のみ 検索対象：7 項目	従来の検索項目を指定して検索する形式から、キーワードの入力のみでアドレスを検索する形式に変更しました。 【検索対象】 【旧製品】：ふりがな、氏名、会社名ふりがな、e-mail（会社）、ドメイン名 【desknet's NEO】：ふりがな、氏名、会社名、会社名ふりがな、e-mail（会社）、email（携帯）、e-mail（個人）
		268	「スカイプID」「自宅FAX」の登録	○	○	× (廃止)	
	管理機能	269	編集権限設定	○	○	(仕様変更)	従来の共有アドレス帳を編集できるユーザーを指定する形式から、アドレス帳機能の管理者を指定し、管理者が共有アドレス帳を管理する形式に変更しました。
		270	「郵便番号検索ページのURL」設定	○	○	× (廃止)	
伝言・所在	一般機能	271	自分が作成した伝言の一覧表示	×	×	○	作成した伝言を一覧表示できるようになりました。
		272	予定の表示	×	×	○	行動予定表として、各ユーザーの予定を一覧で確認できるようになりました。（従来は在席状況の表示のみ）
		273	伝言専用の付箋	×	×	○	付箋機能との連携を強化しました。伝言を登録すると、伝言専用の付箋が貼られます。伝言を受け取ったユーザーは、伝言用の付箋に新着件数が表示されます。付箋ボタンは常に表示され、どの画面からでも伝言内容を確認できます。
		274	伝言登録時の宛先に自分を設定	×	×	○	
		275	伝言の依頼主が未入力の場合、「登録者名（代表組織名）」を依頼主として表示	×	×	○	
		276	所在状態の設定	×	×	○	「在席」「離席」「退社」「休み」以外に任意の所在状態を追加できます。
		277	キャビネット連携	×	×	○	伝言の内容をキャビネット機能に保存できるようになりました。
		278	在席状況の表示	自動/手動		手動	
		279	伝言が確認済みになるタイミング	確認ボタン押下時		閲覧時	伝言内容を閲覧したタイミングで「確認済み」状態になります。
		280	伝言登録時の付箋貼り付け有無の設定	伝言登録者が設定		受け取り側が設定	従来、伝言を登録する側が相手に付箋を貼りつけるかどうかを選択できましたが、desknet's NEOでは、受け取る側があらかじめ「伝言が登録されたら付箋に自動で貼りつける」設定を行う形式に変更となりました。 ※メールによる通知も従来通り行えます。
		281	他のユーザーに登録されている伝言の参照	○	○	× (廃止)	他のユーザーに登録されている伝言のうち、自分が登録した伝言以外は閲覧できません。これに伴い、「シークレット伝言」の登録機能を廃止しました。
		282	フラグの登録	○	○	× (廃止)	

機能名	種別	No.	該当箇所	STD V7.2	MID V8.0 ENT V8.0	NEO V3.5	desknet's NEO 詳細
		283	画面上部からの所在登録	○	○	× (廃止)	
		284	所在件名の設定	○	○	× (廃止)	所在件名の設定は、所在状態の設定に統合しました。
		285	タイムカードの打刻状況との連動	○	○	× (廃止)	
インフォメーション	一般機能	286	階層化可能なカテゴリによるインフォメーションの分類	×	×	○	インフォメーションをカテゴリで分類できるようになりました。カテゴリは階層管理できます。
		287	インフォメーション作成時のカテゴリ複数指定	×	×	○	インフォメーションを作成する際に、カテゴリを複数指定できます。 ※設定できるカテゴリは、アクセス権設定で自分に作成権が設定されているカテゴリのみです。
		288	インフォメーション作成時の宛先自動入力	×	×	○	カテゴリを選択すると、そのカテゴリに設定されているメンバーが閲覧先にセットされるようになりました。また、カテゴリ選択後に、個別に閲覧先を編集できます。 ※カテゴリに設定されているメンバーにしか公開できないのではなく、宛先の初期値という扱いになります。
		289	インフォメーションの印刷用表示	×	×	○	
		290	キャビネット連携	×	×	○	インフォメーションの内容をキャビネット機能に保存できるようになりました。
		291	閲覧先にロール（役割）を指定可能	×	×	○	閲覧先にロール（役割）を指定できるようになりました。
		292	画像のアップロードおよび本文貼り付け	×	×	○ V2.0より	インフォメーション本文に、図や地図など任意の画像を貼り付けられるようになりました。WebやFTPなどの知識が無くても、PCにある画像を簡単にキャビネットにアップロードして、本文に貼り付けられます。 また、V3.0より、キャビネット機能を經由せずに直接アップロードできるようになりました。従来通り、キャビネットにファイルを追加してからの貼り付けにも対応します。
		293	インフォメーション掲示期間の「時間」指定	×	×	○ V2.0より	インフォメーションを掲示する期間を、時間・分まで指定できるようになりました。業務開始時間以降の通達や、午後・夕方からの通達を行いたい場合に利用できます。
		294	「作成者」への組織名・任意名の指定	×	×	○ V2.0より	インフォメーションの作成者として、組織名や任意のチーム名などを指定できるようになりました。 個人ではなく組織やチームとして発信したい時に利用できます。
		295	インフォメーションのプレビュー表示	×	×	○ V2.0より	インフォメーションのプレビュー機能がつかまりました。作成途中のインフォメーションの見栄えを確認出来ます。
		296	簡易全文検索機能	×	×	○ V2.0より	インフォメーションに添付されたテキスト形式・HTML形式・CSV形式のファイルを対象に、ファイルの内容まで検索できます。
		297	承認機能の搭載	×	×	○ V2.5より	インフォメーションの作成時に、任意のユーザーを「承認者」として指定できるようになりました。 承認者に指定されたユーザーは、インフォメーションの内容を確認した上で、「承認」または「否認（作成者への差戻し）」を行うことができます。
		298	画像編集ツールによるイメージ編集・レタッチ	×	×	○ V3.0より	アップロードした画像に対し、その場で様々な編集を行える、「画像編集ツール」を搭載しました。画像へのテキスト追加や、各種図形（四角、丸、ふきだし、矢印など）の挿入、画像の一部切り出しといった基本的な編集機能のほか、モノクロ・セピア・モザイクといった各種フィルタも適用できます。
		299	本文への動画貼り付け・再生	×	×	○ V3.0より	インフォメーションの本文に、ローカルに保存された動画ファイルをアップロードして貼り付けられるようになりました。直接アップロードして貼り付けるほか、一旦キャビネットに保存してから貼り付けることも可能です。貼り付けられた動画は、本文中に表示され、その場で再生を行えます。 ※動画の再生にはHTML5のvideo要素を利用しており、MP4形式、Ogg形式、WebM形式の動画ファイルを利用可能です。

機能名	種別	No.	該当箇所	STD V7.2	MID V8.0 ENT V8.0	NEO V3.5	desknet's NEO 詳細
		300	インフォメーション編集時の自動保存・回復	×	×	○ V3.0より	インフォメーションの作成/変更中、定期的に自動保存を行う機能が搭載されました。自動保存が行われた後、インフォメーションを保存せずに編集画面を閉じた場合、自動保存されたデータがシステム内部に保存され、次にインフォメーション作成/変更画面を開いた際に、編集で内容が回復することができます。
		301	ウェブメールとの連携	×	×	○ V3.5より	インフォメーションの内容をもとに、メールを作成できるようになりました。
		302	インフォメーショングループ	○	○	(仕様変更)	「カテゴリー」の追加に伴い、従来の「インフォメーショングループ」は廃止しました。
		303	掲示開始前のインフォメーションの閲覧	全員閲覧可	作成者が設定	作成者のみ閲覧可	掲示開始前のインフォメーションは、作成者（または、管理者）だけに表示されるようになりました。
		304	Youtube連携、libura連携	○	○	(仕様変更)	直接動画や文書を検索する機能は廃止となりました。埋め込みタグを貼りつけることで、動画や文書を掲載することは可能です。それに伴い、管理者設定の「リッチテキストエディタ設定」を廃止しました。
		305	インフォメーション編集モード	×	×	(仕様変更) V2.0より	誤操作防止のため、インフォメーションの編集モードを追加しました。インフォメーションの追加・編集は、設定メニューの「インフォメーション編集」を選択し、編集モードに切り替えてから行います。
		306	リッチテキストエディタの変更	(仕様変更) V3.0より			リッチテキストエディタ（書式付きテキストエディタ）に利用していたライブラリを変更しました。これにより、特定のブラウザにおける日本語入力の安定性が向上しました。
		307	インフォメーションへのフラグ登録	○	○	×	(廃止)
管理機能		308	インフォメーション機能管理者の任命	×	×	○	インフォメーショングループに変わり追加された「カテゴリー」のメンテナンス（登録・変更・削除・アクセス権設定）は、システム管理者と機能管理者のみが行えます。
		309	「インフォメーション管理」画面での掲示データ管理	×	×	○	システム管理者と機能管理者が使用できる管理機能を追加しました。 【管理できる項目】 ・カテゴリーの追加・変更・削除・表示順変更・アクセス権設定 ・インフォメーションの参照・作成・変更・削除 カテゴリーのアクセス権設定では以下を設定可能です。 ・インフォメーション作成時の閲覧先メンバーの初期値 ・インフォメーション作成権限の設定 ※カテゴリーを階層化した場合も、子カテゴリーは親カテゴリーのアクセス権とは連動しません。

機能名	種別	No.	該当箇所	STD V7.2	MID V8.0 ENT V8.0	NEO V3.5	desknet's NEO 詳細
		310	カテゴリ（インフォメーショングループ）のアクセス権設定項目				<p>【STD/MID/ENT】インフォメーショングループに対する各ユーザーの権限【参照、追加、変更、削除】を設定できます。</p> <p>■[参照権限]…インフォメーションの閲覧のみ可能 ※参照権限がないユーザーを閲覧先に指定することはできません。</p> <p>■[追加権限]…インフォメーションの作成が可能 ※自分が作成したインフォメーションの変更・削除も可能</p> <p>■[変更・削除権限]…インフォメーションの変更・削除が可能 ※他者が作成したインフォメーションも変更・削除可能</p> <p>【desknet's NEO】カテゴリに対する各ユーザーの権限【参照、追加、変更、削除】を設定できます。</p> <p>※（V2.0より）アクセス権限に、「変更」と「削除」を追加しました。他のユーザーが登録したインフォメーションの変更および削除を許可するかどうか制御できます。</p> <p>■[参照]…参照権限を付与したユーザーは、インフォメーションを作成する際に、カテゴリを選ぶと閲覧先の初期値として設定されます。 ※閲覧先ユーザーは変更できます。 ※カテゴリに対して参照権限がないユーザーも、閲覧先として指定できます。</p> <p>■[追加権限]…インフォメーションの作成が可能 ※自分が作成したインフォメーションの変更・削除も可能</p> <p>■[変更・削除権限]…インフォメーションの変更・削除が可能 ※他者が作成したインフォメーションも変更・削除可能</p>
		311	アクセス権の一括更新	×	×	○ V2.5より	カテゴリのアクセス権を変更した際、自動的にそのカテゴリの下位にあるカテゴリ、また登録されているインフォメーションのアクセス権を上書き更新できるようになりました。
		312	[共通設定]検索結果最大表示件数	○	○	×	(廃止)
ワークフロー	一般機能	313	[申請一覧]「承認予定」一覧（後日届く申請の事前確認）の表示	×	×	○	承認予定の申請を一覧表示できるようになりました。自分に届く前の申請を事前に確認できます。
		314	申請の取り消し	×	×	○	申請後の取り消しができるようになりました。申請の削除と異なり、申請書と、申請を取り消した記録を残すことができます。
		315	連続承認	×	×	○	連続承認が可能になりました。申請を承認後に一覧に戻らずに次の申請書の内容を表示できます。
		316	「表題」「決裁状況」による申請の検索	×	×	○	あらかじめ設定された表題で、申請を検索できます。また、申請の状態別（決裁待ち、差戻し、取消し、完了）に検索できるようになりました。
		317	キャビネット連携	×	×	○	申請の内容をキャビネット機能に保存できるようになりました。
		318	申請書の回覧・レポート回付機能	×	×	○ V2.0より	自分宛に届いた申請や承認した申請、自分で作成して申請中の申請などを、回覧・レポートで関係者に回付できるようになりました。 可否の判断をするために関係者に申請内容を確認したい場合や、承認後に関係者に情報共有したい場合などに活用できます。 （V3.5より）ワークフローの回付時、回覧・レポートの作成画面を表示するようになりました。メンバーへの依頼事項やコメント、添付資料などを追加できます。
		319	ワークフロー申請編集時の自動保存・回復	×	×	○ V3.0より	ワークフロー申請の作成/変更中、定期的に自動保存を行う機能が搭載されました。自動保存が行われた後、申請を保存せずに編集画面を閉じた場合、自動保存されたデータがシステム内部に保存され、次に申請作成/変更画面を開いた際に、編集中心だった内容を回復することができます。
		320	申請取消し時のコメント	×	×	○ V3.5より	申請取消し時に、取消し理由などのコメントを残すできるようになりました。

機能名	種別	No.	該当箇所	STD V7.2	MID V8.0 ENT V8.0	NEO V3.5	desknet's NEO 詳細
		321	添付ファイルの文書管理連携	×	×	○ V3.5より	文書管理連携時に、書式内の添付ファイルも連携されるようになりました。
		322	申請書による検索	×	×	○ V3.5より	サブウィンドウ内の詳細検索にて、申請作成時に使用した申請書で検索できるようになりました。
		323	[申請一覧]コンボボックスの項目名の変更	(仕様変更) V2.0より			コンボボックスの項目名は、それぞれ以下に対応します。 ※「旧desknet'sの表記」→「desknet's NEO V2の表記」 ・「確認依頼/未確認」→「未承認」 ・「確認依頼/確認済」→「承認済み」 ・「確認依頼/完了」→「完了」 ・「作成分/未完了」→「作成分（申請中）」 ・「作成分/完了」→「作成分（完了）」
		324	未承認の申請一覧の初期並び順	(仕様変更) V2.0より			STD/MID/ENT・・・作成日降順（新しい申請順） NEO V1.0・・・作成日降順（新しい申請順） NEO V2.0・・・経過日数降順（古い申請順）
		325	作成した申請へのフラグの登録	○	○	×	(廃止)
管理機能		326	[書式]作成中書式の下書き保存	×	×	○	書式作成の際に、「編集途中のため、この書式を使用させない」をチェックすることで、下書きとして保存できるようになりました。
		327	[書式/経路]ドラッグ&ドロップによる書式部品、経路部品の並び替え	×	×	○	部品をドラッグ&ドロップで並び替えることができるようになりました。
		328	[書式]日付部品の初期に「現在日」を指定可能	×	×	○	書式の日付部品の初期値に「現在日」を指定できるようになりました。
		329	[書式]「横線」部品	×	×	○	書式の部品として、横線を挿入できるようになりました。
		330	[書式]共有書式ごとの連番設定	×	×	○	書式ごとに連番を設定できるようになりました。
		331	連番設定のタイムスタンプ対応/任意キーワード付加	×	×	○	連番に現在日時を指定できるようになりました。また、キーワードを先頭以外の任意の場所に指定できます。
		332	「連番設定」の複数設定と申請書への割り当て	×	×	○	「連番設定」を複数作成できるようになり、異なる申請書で同じ連番設定を使用できるようになりました。 ※（V2.0より）作成した連番設定を複数の申請書で使用できるようになりました。
		333	[経路]条件分岐	×	×	○	申請経路の条件分岐が可能になりました。「申請金額が○万円以上の場合は、経路に本部長を追加する」といった運用が可能です。
		334	[経路]申請経路と書式の紐づけ	×	×	○	経路と書式を紐づけることができるようになりました。申請時の経路選択画面には、紐づけられた経路のみが表示されます。
		335	[経路]承認の種別を「承認」「決裁」「確認」の3種類から選択可能	×	×	○	承認種別を選べるようになりました。社長は決裁、経理担当者は確認といった使い分けができます。 押印の欄にも指定した種類の印影が表示されます。
		336	[経路]ルール（役割）搭載による経路の自動更新	×	×	○	経路に「経理担当者」などのルール（役割）を指定できるようになりました。人事異動時の際は、ルール側を編集することで、経路にも自動的に変更が反映されます。
		337	申請内容の一括ダウンロード（CSV形式で複数の申請をダウンロード）	×	×	○	複数の申請内容を1行1申請のCSV形式で、一括ダウンロードできるようになりました。 それに伴い、1件ずつのダウンロード機能を廃止しました。
		338	各書式へのアクセス権設定	×	×	○	共有書式自体にアクセス権を設定できるようになりました。
		339	各経路へのアクセス権設定	×	×	○	経路自体にアクセス権を設定できるようになりました。
		340	ワークフロー機能の管理者とは別に、書式・経路のマスタを編集する係を任命	×	×	○	ワークフローの機能管理者とは別に、書式と経路のみ管理する管理者を設定できるようになりました。経理担当の一般社員に対して、申請削除などの権限は持たせず、書式・経路の管理権限のみ持たせることができます。

機能名	種別	No.	該当箇所	STD V7.2	MID V8.0 ENT V8.0	NEO V3.5	desknet's NEO 詳細
		341	申請管理画面からの、申請者への差戻し	×	×	○	申請管理画面から、申請を申請者へ差戻すことができるようになりました。
		342	申請管理画面からの、申請取消し	×	×	○	申請後の取り消しができるようになりました。申請の削除と異なり、申請書と、申請を取り消した記録を残すことができます。
		343	申請管理画面からの、強制完了	○	○	×	(廃止)
		344	[書式]「画像」部品	×	×	○ V2.0より	書式の部品として、「画像」を追加しました。会社のロゴや、図、地図などを貼り付けられ、作成できる申請書の幅が広がります。
		345	[経路]「組織」部品	×	×	○ V2.0より	申請書の申請経路に「組織」を追加できるようになりました。承認者として、その組織に所属する「すべてのユーザー」、「特定のユーザー」、「特定のロールが割り当てられたユーザー」、「ワークフロー管理者」、「組織内承認者」から選択できます。
		346	[経路]「所属組織階層」部品	×	×	○ V2.0より	申請書の申請経路に「所属組織階層」を追加できるようになりました。申請者の所属組織の承認者から、その上位階層の組織の承認者に対し、順に申請を回していくことができます。途中で階層を飛ばすことも、順序を任意に変えることも可能です。それぞれの階層の承認者として、その組織に所属する「すべてのユーザー」、「特定のユーザー」、「特定のロールが割り当てられたユーザー」、「ワークフロー管理者」、「組織内承認者」から選択できます。
		347	[経路]「組織内承認者」の設定を追加	×	×	○ V2.0より	それぞれの組織ごとに「組織内承認者」を設定できるようになりました。申請経路の「組織」部品および「所属組織階層」部品で使用できます。
		348	申請者による書式と経路の変更の制限	×	×	○ V2.0より	申請書ごとに、申請者による書式と経路の変更の制限を行えるようになりました。管理者があらかじめ設定した書式および経路の利用を強制することができます。
		349	申請書ごとの文書管理の保存先フォルダ指定	×	×	○ V2.0より	申請完了時に自動的に申請書を文書管理に保存する際、申請書ごとに別の保存先フォルダを設定できるようになりました。
		350	申請書作成URLの発行	×	×	○ V2.0より	申請書の作成画面を直接表示するためのURLを発行する機能を追加しました。メールやポータルコンテンツ、パレットメニューなどに貼り付けて利用できます。
		351	承認者の1人が否認したらすぐ差戻す設定の追加	×	×	○ V2.5より	承認条件に「50%を超える人が承認」「50%以上の人が承認」「1人以上が承認」を選択したときの否認条件として、「1人以上が否認したら差戻す」かどうかを設定できます。
		352	申請者の承認者からの除外	×	×	○ V2.5より	申請経路のユーザー、組織、ロール、承認グループ、所属組織階層に、「申請者を除外」の設定が追加されました。除外する設定を行うことで、申請者以外に承認を行わせることができます。
		353	自分の申請書の自動承認	×	×	○ V3.5より	申請経路で、自分自身が承認者に含まれる場合に、自動的に承認することができるようになりました。経路設定で、申請者の扱いを「そのまま」「申請者を除外する」「自動承認する」から選択できます。
		354	申請の強制完了	×	×	○ V3.5より	申請経路に含まれるユーザーが削除されたことにより申請が止まってしまった場合に、管理者による強制完了ができるようになりました。強制完了時は、理由などのコメントを残すことができます。
		355	[書式]数値のカンマ区切り表示	×	×	○ V3.5より	「数値」「自動計算」部品に、カンマ区切りで表示する設定を追加しました。

機能名	種別	No.	該当箇所	STD V7.2	MID V8.0 ENT V8.0	NEO V3.5	desknet's NEO 詳細
		356	「表題」「書式」「経路」を「申請書」として統合	(仕様変更) V2.0より			「表題」「書式」「経路」を、「申請書」として統合しました。 申請の作成時、表題を選択すると自動的に書式と経路も選択されます。
		357	グループ書式・グループ経路	○	○	× (廃止)	書式・経路自体にアクセス権を設定できるようになったため、グループ書式及びグループ経路を廃止しました。
アンケート	一般機能	358	[書式]作成中書式の下書き保存	×	×	○	書式作成の際に、「編集途中のため、この書式を使用させない」をチェックすることで、下書きとして保存できるようになりました。
		359	[書式]ドラッグ&ドロップによる書式部品の並び替え	×	×	○	部品をドラッグ&ドロップで並び替えることができるようになりました。
		360	[書式]日付部品の初期値に「現在日」を指定	×	×	○	書式の日付部品の初期値に「現在日」を指定できるようになりました。
		361	[書式]横線部品	×	×	○	
		362	キャビネット連携	×	×	○	
		363	「表題」「状態」によるアンケートの検索	×	×	○	
		364	[書式]画像の貼り付け	×	×	○ V2.0より	書式部品に画像を追加しました。写真やイラストを選ばせたり、補足の図や地図を貼り付けるなど、より柔軟なアンケートを作成できます。
		365	「作成者」への組織名・任意名の指定	×	×	○ V2.0より	アンケートの作成者として、組織名や任意のチーム名などを指定できるようになりました。個人ではなく組織やチームとして発信したい時に利用できます。
		366	アンケート未回答者への通知	×	×	○ V2.0より	アンケートの未回答者に対して、メールまたは伝言で回答を促す通知を送ることができるようになりました。
		367	完了通知メール	○	○	○ V2.0より	全員からアンケートの回答があった時に、自分に通知メールを送ることができます。
		368	アンケート締切日の変更	×	×	○ V2.0より	アンケートの締切日を変更できるようになりました。締切日に近づいても、または締切日を過ぎても全員からの回答が得られない時に、回答期限を延長できます。
		369	代表組織名の表示	×	×	○ V2.5より	回答履歴の一覧に「代表組織名」が追加されました。ダウンロードできるCSVファイルにも、代表組織名の項目が追加されます。
		370	アンケート編集時の自動保存	×	×	○ V3.0より	アンケートの作成/変更中、定期的に自動保存を行う機能が搭載されました。 自動保存が行われた後、アンケートを保存せずに編集画面を閉じた場合、自動保存されたデータがシステム内部に保存され、次にアンケート作成/変更画面を開いた際に、編集集中だった内容を回復することができます。
		371	[書式]数値のカンマ区切り表示	×	×	○ V3.5より	「数値」「自動計算」部品に、カンマ区切りで表示する設定を追加しました。
		372	アンケート作成時の表題・書式の入力	(仕様変更) V2.0より			
373	フラグの登録	○	○	× (廃止)			
管理機能		374	[ダウンロード]日付部品の形式	X年X月X日		X/X/X	アンケートダウンロードの際、日付部品に記入された日付の出力形式が変更となります。
		375	グループ書式・グループ回答先	○	○	× (廃止)	

機能名	種別	No.	該当箇所	STD V7.2	MID V8.0 ENT V8.0	NEO V3.5	desknet's NEO 詳細	
電子会議室	一般機能	376	トピックそれぞれに稼働状態を設定可能 (稼働・休止・書き込み禁止)	×	×	○	会議室の稼働状態設定に加え、トピックそれぞれに稼働状態 (稼働・休止・書き込み禁止)を設定できるようになりました。 議論が完了した段階で「書き込み禁止」に設定すると、閲覧/ 共有用として公開しておくことができます。 ※会議室自体の稼働状態設定は「稼働」「休止」のみ	
		377	ラベルの貼り付けによる会議室の分類	×	×	○	会議室をラベルで分類できるようになりました。ラベルは、会 議室をドラッグ&ドロップで各ラベルに移動することで貼り付 けることができます。	
		378	[個人設定] 「新着参加会議室の表示件数」項目	×	×	○		
		379	キャビネット連携	×	×	○	議論の内容をキャビネット機能に保存できるようになりまし た。	
		380	簡易全文検索機能	×	×	○ V2.0より	電子会議室のトピックに添付されたテキスト形式・HTM形 式・CSV形式のファイルを対象に、ファイルの内容まで検索で きます。	
		381	コメントへのファイル添付	○	○	○ V3.5より	投稿のコメントにもファイルを添付できるようになりました。	
		382	記事の表示形式	ツリー形式 一覧形式 トピック形式		トピック形式		
		383	議論形式	ツリー管理		トピック管理	従来はトップ階層の記事が、トピックとして扱われていまし たが、明確にテーマ/タイトルを「トピック」として記入する形 式に変更しました。 【旧製品】 トピック：会議室へ新規投稿した記事のタイトル 投稿：投稿した記事の内容 コメント：記事や各コメントに対する返信 【desknet's NEO】 トピック：議論のテーマ/タイトル 投稿：トピックに関する意見 コメント：投稿へのコメント	
		384	コメントへの返信	○	○	(仕様変更)	1件の投稿に対してコメントが時系列に表示される形式への仕 様変更に伴い、コメントに対する直接の返信は廃止しました。	
		385	トップ画面に表示される項目	会議室一覧		新着トピック/ 新着会議室 一覧	トップ画面が会議室の一覧から、新着トピックと新着会議室の 一覧を表示する形式に変更しました。	
		386	記事No.による記事の表示・削除	○	○	×	(廃止)	
		387	[個人設定] 「会議室一覧の初期表示」項目 「初期表示モード」項目 「未読アイコン表示設定」項目 「記事No.を表示」項目 「会議室一覧表示件数」項目 「ツリー表示の1ページ表示件数」項目 「トピック表示の1ページ表示件数」項目	○	○	×	(廃止)	投稿の表示形式の変更に伴い、設定項目を廃止しました。
		管理機能	388	[会議室設定項目]会議室の概要	×	×	○	会議室の概要を設定できるようになりました。会議室のテーマ や注意事項などの説明を記載できます。
			389	[会議室設定項目]添付ファイルの登録可否	×	×	○	会議室の作成画面にて、添付ファイルの登録可否を設定できる ようになりました。添付ファイルの容量制限も設定可能です。
390	[会議室設定項目]会議室の管理者を任命		×	×	○	会議室ごとに管理者を設定できるようになりました。		

機能名	種別	No.	該当箇所	STD V7.2	MID V8.0 ENT V8.0	NEO V3.5	desknet's NEO 詳細
		391	[会議室設定項目]参加者アクセス権	×	×	○	会議室の参加者それぞれに参照・書き込みのアクセス権を設定できるようになりました。
		392	「会議室管理」画面でのトピック、記事、コメント等のデータ管理	×	×	○	会議室の編集に加え、トピック、記事、コメント等のデータ管理を行えるようになりました。
		393	[共通設定] 「新着投稿の表示件数」項目 「新着参加会議室の表示件数」項目	×	×	○	
		394	アクセスログの削除	×	×	○ V2.0より	機能管理画面から、会議室ごとにアクセスログを削除する機能が追加されました。
		395	参加者以外の記事閲覧の可否設定	(詳細を参照のこと)			各会議室の記事の閲覧・投稿の可否は、アクセス権設定によってユーザーごとに設定できるようになりました。これに伴い、会議室設定項目の「会議室の形態」を廃止しました。
		396	[会議室設定項目]会議室一覧への表示（強制的に表示するか、ユーザー任意とするかの設定）	○	○	×	ラベルにより会議室を整理できるようになったため、個人で会議室の表示/非表示を選択する設定は廃止となりました。
		397	[会議室設定項目]投稿禁止語句	○	○	×	(廃止)
		398	アクセスランキング	○	○	×	(廃止)
		399	[共通設定] 「初期表示モード」項目 「未読アイコン表示設定」項目 「記事No.を表示」項目 「会議室一覧表示件数」項目 「ツリー表示の1ページ表示件数」項目 「トピック表示の1ページ表示件数」項目 「引用符」項目	○	○	×	(廃止) 投稿の表示形式の変更に伴い、廃止しました。
文書管理	一般機能	400	フォルダツリーの横幅の変更	×	×	○	フォルダ一覧の幅を変更できるようになりました。
		401	ドラッグ&ドロップによる文書/フォルダの移動	×	×	○	ドラッグ&ドロップで、文書やフォルダを移動できるようになりました。
		402	ドラッグ&ドロップによるファイルの添付	×	×	○	ドラッグ&ドロップ操作でファイルを添付できます。（最大同時10ファイル） 対応ブラウザ・・・Firefox/Chrome/IE10/IE11/Safari 非対応・・・IE8/IE9 ※IE8、IE9はFlashによるファイル選択ダイアログ（複数選択可能）によるアップロードとなります。
		403	最大10世代分の更新履歴保存	×	×	○	文書の更新履歴を最大10世代分保存できるようになり、いつでも過去のファイルを閲覧できます。
		404	ロールバック機能	×	×	○	ロールバック機能により、文書の更新履歴から、簡単に過去のファイルに戻すことができます。 ※ロールバックを実施すると、文書の「文書名」、「添付ファイル」、「コメント」を過去の状態に戻すことができます。
		405	キャビネット連携	×	×	○	文書をキャビネット機能に保存できるようになりました。
		406	文書/フォルダのアクセス権にロールを指定可能	×	×	○	文書のアクセス権にロールを指定できるようになりました。組織だけでなく「役員」や「部長」に公開する、といった設定が可能です。
		407	添付ファイルの表示方法をアイコン表示/リスト表示で切り替え可能	×	×	○	文書閲覧画面にて、添付ファイルの表示方法を切り替えることができます。ファイルが画像形式の場合は、サムネイル表示されます。

機能名	種別	No.	該当箇所	STD V7.2	MID V8.0 ENT V8.0	NEO V3.5	desknet's NEO 詳細
		408	簡易キーワード検索窓	×	×	○	簡易検索窓を追加しました。キーワードの入力だけで、選択中のフォルダに登録されている文書を検索できます。
		409	複数ファイルの一括添付	×	○	○	ファイルのアップロード画面で、マウスで複数のファイルを選択し、一括でアップロードできます。
		410	文書一覧でどの項目で初期ソートするかを設定	×	○	○	文書一覧を表示する際に、どの項目を基準に並び替えるかを設定できるようになりました。
		411	関連文書の設定	×	×	○ V2.0より	その文書に関連する文書を、「関連文書」として設定できるようになりました。関連文書同士は自動的に相互リンクされ、お互いの文書を行き来できます。 複数文書に渡る規程や、書類の外部マニュアルなどに活用できます。
		412	短縮URLの1クリック生成	×	×	○ V2.0より	現在開いている文書および個々のファイルにアクセスするための短縮URLを、1クリックで生成出来ます。
		413	簡易全文検索機能	×	×	○ V2.0より	文書管理の文書に添付されたテキスト形式・HTML形式・CSV形式のファイルを対象に、ファイルの内容まで検索できます。
		414	編集の取り消し機能	×	×	○ V2.0より	「編集の取り消し」機能を追加しました。編集中の文書を、編集前の状態に戻すことができます。
		415	「編集中の文書」フォルダ	×	×	○ V2.0より	「編集中の文書」フォルダを追加しました。自分が編集中のすべての文書をまとめて表示できます。
		416	ポータルへの新着文書や文書の更新情報の表示（文書管理コンテンツ）	×	×	○ V2.0より	ポータルに文書管理コンテンツを追加しました。新着文書や文書の更新情報を自動的に一覧表示できるので、更新の案内を行う手間が省けます。
		417	添付ファイルの一括ダウンロード	×	×	○ V3.5より	文書に添付されたファイルを一括してダウンロードできるようになりました。
		418	文書編集時の作業状態の変更（排他制御）				従来の作業状態「更新作業中」は「編集集中」に文言が変わりました。 [文書を編集集中状態に変更する方法] 【旧製品】 文書の編集画面を開き、「更新作業中」の状態に設定し保存 【desknet's NEO】 ・文書の閲覧画面で編集ボタンをクリック ・文書の登録/編集画面で「一時保存」をクリック ※「編集集中」状態は文書を保存すると解除されます。 ※（V2.0より）文書の編集集中は、編集前と編集中の文書が別文書として一覧に表示されます。編集前の文書は、編集が終了するまでの間、所有者や機能管理者であっても変更できません。
		419	【個人設定】「アクセス権のないフォルダ」項目	○	○	×	【desknet's NEO】参照権の無いフォルダは表示されません。
	管理機能	420	各文書の保管期限の初期値設定	×	×	○	
		421	改訂履歴設定	×	×	○	メール取込が「POP over SSL」に対応しました。
		422	[文書管理]画面での文書データ管理	×	×	○	管理機能に「文書管理」を追加しました。
		423	メール取込のPOP over SSL対応	×	×	○ V2.0より	
		424	一般ユーザーのルートフォルダ直下へのフォルダ登録	○	○	×	ルートフォルダ直下へのフォルダ作成は、管理者のみが行えます。
タイムカード	一般機能	425	[タイムカードの修正画面]備考欄への複数行入力	×	×	○	

機能名	種別	No.	該当箇所	STD V7.2	MID V8.0 ENT V8.0	NEO V3.5	desknet's NEO 詳細
		426	就業状況一覧に「備考」を表示	×	×	○	備考にはタイムカードの修正画面で登録した、以下の内容が表示されます。 ・欠勤事由 ・遅刻/早退事由 ・備考
	管理機能	427	[タイムカード管理]画面	×	×	○	タイムカードの機能管理では以下の管理・設定が可能です。 ・遅刻・早退の承認 ・各ユーザーのタイムカードの管理、集計 ・勤務体系の追加、編集、削除、ユーザーへの勤務体系の設定
		428	[ダウンロード][詳細ダウンロード]備考値をダブルクォーテーションで囲むように変更	単一行（ダブルクォーテーション不要）		複数行（ダブルクォーテーション要）	
議事録	一般機能	429	ラベルの貼り付けによる議事録の分類	×	×	○	議事録をラベルで分類できるようになりました。ラベルは、ドラッグ&ドロップで議事録に貼り付けることができます。
		430	ドラッグ&ドロップによる各議題の移動	×	×	○	議事録作成・編集画面にて、各議題をドラッグ&ドロップで並び替えるできるようになりました。
		431	Internet Explorer以外のブラウザでのリッチテキストエディタの使用	×	×	○	従来はInternet Explorer以外のブラウザの場合、通常テキストの記入方式となりましたが、desknet's NEOでは、Firefox / Chrome / Safariにおいても同様のエディタで装飾を行えます。
		432	リッチテキストエディタにおける、背景色の設定、表の挿入、箇条書き、動画の埋め込み	×	×	○	
		433	キャビネット連携	×	×	○	議事録の内容をキャビネット機能に保存できるようになりました。
		434	議事録編集時の自動保存・回復	×	×	○ V3.0より	議事録の作成/変更中、定期的に自動保存を行う機能が搭載されました。 自動保存が行われた後、議事録を保存せずに編集画面を閉じた場合、自動保存されたデータがシステム内部に保存され、次に議事録作成/変更画面を開いた際に、編集中だった内容を回復することができます。
		435	議事録の事前登録	○	○	(仕様変更)	従来は、会議前の議事録は「事前登録」、会議後は「完了登録」として登録する形式でしたが、desknet's NEOでは、作成した議事録が完了したかどうかを管理する形式に変更しました。 【旧製品】事前登録・完了登録 【desknet's NEO】「この議事録は完了」にチェックをすると完了
		436	ToDo連携	○	○	×	(廃止)
		437	社外参加者選択時のアドレス帳連携	○	○	×	(廃止)
購買予約	一般機能	438	注文詳細画面に商品ごとの小計および、合計金額の表示	×	×	○	
	管理機能	439	購買予約機能管理者の任命	×	×	○	「システム管理>管理者設定」画面より機能管理者を指定できます。
プロジェクト管理	一般機能	440	ガントチャート（線表）によるプロジェクトの進捗状況表示	×	×	○	タスクの進捗状況をガントチャート（線表）で表示できるようになりました。
		441	「工程」の作成機能（大工程・中工程）	×	×	○	
		442	タスクごとの担当者設定	×	×	○	
		443	掲示板形式のインターフェースによる進捗報告	×	×	○	掲示板形式のインターフェースで、進捗の報告や、アドバイスなどのコメントのやりとりを行えるようになりました。

機能名	種別	No.	該当箇所	STD V7.2	MID V8.0 ENT V8.0	NEO V3.5	desknet's NEO 詳細
		444	タスクの進捗一覧画面の印刷表示	×	×	○	各タスクの進捗状況一覧を印刷できるようになりました。
		445	タスクの進捗管理画面から「ウェブメール」「スケジュール」「ToDo」の登録画面を表示可能	×	×	○	タスクの進捗管理画面から「ウェブメール」「スケジュール」「ToDo」の登録画面を直接起動し、タスクの内容とともに登録できるようになりました。
		446	【個人設定】 「1ページの表示件数」項目 「ガントチャートの表示件数」項目	×	×	○	
		447	プロジェクトの進捗率による検索	○	○	(仕様変更)	進捗率を数字で指定する形式から、進捗状況を選択して検索する形式に変更しました。 【選択項目】未完了（遅延、進行中、開始前）、完了
		448	表示単位の切り替え（日・週・10日・半月・1ヶ月）	○	○	×	(廃止)
		449	プロジェクトの担当グループの指定/プロジェクト一覧画面でのグループ選択	○	○	×	(廃止)
		450	【個人設定】 「初期表示」項目 「プロジェクト一覧内の表示件数」項目 「タスク一覧内の表示件数」項目 「進捗報告一覧内の表示件数」項目 「タスク一覧の表示」項目	○	○	×	(廃止)
管理機能		451	ガントチャート上でのドラッグ&ドロップによる、タスクの開始/終了期限変更	×	×	○	
		452	【タスクの属性】 「担当者」項目	×	×	○	
		453	【共通設定】 「1ページの表示件数」 「ガントチャートの表示件数」 「検索結果最大表示件数」	×	×	○	
		454	「プロジェクト作成権限設定」	○	○	(仕様変更)	名称を「プロジェクト作成権限設定」から「管理者設定」に変更しました。
		455	【プロジェクトの属性】 「責任者」項目、「担当グループ」項目 「着手日」項目、「期日」項目 「フラグ」項目、「進捗表示単位」項目 「プロジェクト概要」項目、「添付ファイル」項目 「予算」項目、「人員」項目	○	○	×	(廃止)
		456	【タスクの属性】 「責任者」項目、「フラグ」項目 「タスク概要」項目、「添付ファイル」項目 「予算」項目、「人員」項目	○	○	×	(廃止)
		457	【共通設定】 「プロジェクト一覧内の表示件数」 「タスク一覧内の表示件数」 「進捗報告一覧内の表示件数」 「表示制限」	○	○	×	(廃止)
仮払精算	一般機能	458	精算の閲覧画面	×	×	○	
	管理機能	459	仮払精算機能管理者の任命	×	×	○	機能管理者は、以下のデータ管理や設定を行えます。 ・報告された精算書の変更、削除、精算処理 ・報告先ユーザーの登録、各ユーザーの報告先の設定 ・精算書作成時に使用する項目の作成、編集、削除

機能名	種別	No.	該当箇所	STD V7.2	MID V8.0 ENT V8.0	NEO V3.5	desknet's NEO 詳細
備品管理	一般機能	460	出庫画面での「残りの個数」表示	×	×	○	備品を出庫する際に、出庫数を入力すると、在庫数から出庫数を引いた数その場で表示されるようになりました。
	管理機能	461	管理機能画面での出庫	×	×	○	管理機能にて入庫だけでなく、出庫もできるように変更しました。
メモパッド	一般機能	462	メモ登録画面からのラベル追加	×	×	○	メモを登録する画面からラベルも合わせて登録することができます。
		463	キャビネット連携	×	×	○	メモの内容をキャビネット機能に保存できるようになりました。
		464	どの画面からでもメモを登録可能（付箋との連携）	×	×	○	付箋機能と連携し、どの画面からでもメモを登録できるようになりました。
		465	メモの分類方法	分類		ラベル	従来の「分類」機能の名称を「ラベル」に変更しました。ラベルは、ドラッグ&ドロップでメモに貼り付けることができます。
	466	メモのタイトル	○	○	(仕様変更)	メモのタイトル項目を廃止し、内容欄と統合しました。メモの一覧ではメモ内容の一行目がタイトルとして表示されます。	
	管理機能	467	メモパッド機能管理者の任命	×	×	○	
		468	「メモパッド管理」画面での各ユーザーのメモデータ管理	×	×	○	管理機能に「メモパッド管理」を追加しました。管理者が、各ユーザーが使用している容量の確認や、メモの編集・削除を行えるようになりました。 ※従来は個人ごとの管理のみ。
	キャビネット	一般機能	469	フォルダの階層管理	×	×	○
470			desknet's NEO内の各機能のデータを直接保存	×	×	○	デスクネット ネオの各機能のデータを直接保存できるようになりました。各機能内のキャビネットボタンからデータを保存できます。 ■キャビネット保存対応機能 ネオツイ（つぶやき）、スケジュール、ToDo、ウェブメール、伝言、ワークフロー、回覧・レポート、議事録、インフォメーション、電子会議室、文書管理、アンケート、メモパッド
471		フィルターによる振り分け	×	×	○	フィルター機能の搭載により、各機能のデータを保存する際に、それぞれのフォルダに保存するかを設定できます。	
472		ドラッグ&ドロップによるファイルの添付	×	×	○	ドラッグ&ドロップ操作でファイルを添付できます。（最大同時10ファイル） 対応ブラウザ・・・Firefox/Chrome/IE10/IE11/Safari 非対応・・・IE8/IE9 ※IE8、IE9はFlashによるファイル選択ダイアログ（複数選択可能）によるアップロードとなります。	
473		ドラッグ&ドロップによるファイルのフォルダ移動	×	×	○		
474		キャビネットの閲覧画面	×	×	○	各機能のデータを保管した場合は、その内容が表示されます。	
475		添付ファイルの表示方法をアイコン表示/リスト表示で切り替え可能	×	×	○		
476		閲覧画面にて、ファイルの更新者名を表示	×	×	○		
477		フォルダのアクセス権にロール（役割）を指定可能	×	×	○		
478		フォルダのアクセス権設定時に、組織の「配下すべて」を指定可能	×	×	○	フォルダのアクセス権で組織を選択した際に、「配下すべて」を指定できるようになりました。	

機能名	種別	No.	該当箇所	STD V7.2	MID V8.0 ENT V8.0	NEO V3.5	desknet's NEO 詳細
		479	フォルダ・フィルタの自動作成	×	×	○	[個人設定> 連携用フォルダの自動作成]メニューから、フォルダとフィルタを自動作成できます。
		480	「最初に表示されるフォルダ」設定	×	×	○	キャビネット機能にアクセスした際に、指定したフォルダのファイル一覧を表示できます。
		481	「キャビネット一覧並び順初期値」設定	×	×	○	一覧画面を表示した際に、あらかじめどの項目で並べ替えておくかを設定できます。
		482	簡易キーワード検索窓	×	×	○	簡易検索窓を追加しました。キーワードの入力だけで、選択中のフォルダに登録されているファイルを検索できます。
		483	保管したファイルを直接メール送信	×	×	○	キャビネットに保管されているファイルを直接メールに添付して送信できるようになりました。
		484	簡易全文検索機能	×	×	○ V2.0より	キャビネットの文書に添付されたテキスト形式・HTML形式・CSV形式のファイルを対象に、ファイルの内容まで検索できます。
		485	Webクリップ機能（インターネットのページ、画像の保存）	×	×	○ V2.0より	インターネットのニュース記事や資料、またページに貼られている画像を、1クリックで丸ごとキャビネットに保存する機能が追加されました。 ポータル「Webクリップ」コンテンツから「ページをクリップ」「画像をクリップ」をブラウザのお気に入りバー（ブックマークバー）に登録し、クリップしたいページで「～をクリップ」を選択すれば、そのページまたはそのページの画像が自動的にキャビネットに保存されます。 ※Webクリップの利用には、desknet's NEOをインストールしたサーバーからインターネットに接続する必要があります。
		486	Webクリップメニューの追加	×	×	○ V2.5より	キャビネットの個人設定メニューに「Webクリップの追加」を追加しました。ポータルにコンテンツを表示してなくても、Webクリップのブックマークレットを追加することができます。
		487	ファイルタイプ設定	○	○	×	十分なファイルタイプをあらかじめ登録してあるため、設定画面は廃止しました。
	管理機能	488	キャビネット機能管理者の任命	×	×	○	機能管理者を設定できるようになりました。
		489	「キャビネット管理」画面での各ユーザーのデータ管理	×	×	○	管理機能に「キャビネット管理」を追加しました。管理者が、各ユーザーが使用している容量の確認や、ファイルの編集・削除を行えるようになりました。 ※従来は個人ごとの管理のみ。
		490	[共通設定]「アクセス権のないフォルダ」項目	○	○	×	(廃止)
利用者名簿	一般機能	491	プロフィールに個人情報追加	×	×	○	プロフィール閲覧画面に、性別や生年月日など、個人のプロフィール情報を表示できるようになりました。 どの項目を表示するかは管理者設定画面から設定できます。
		492	簡易検索ウィンドウ	×	×	○	
		493	役職名の表示	×	×	○ V2.5より	ユーザーの一覧の項目に「役職名」の列を追加しました。「役職名」での並べ替えも可能です。
		494	ユーザー検索の検索項目		氏名、かな	氏名、かな、 電話番号、役職名、メールアドレス	
		495	「ヘッダー検索> 巡回検索」の検索対象		利用者名簿は、検索対象	利用者名簿は、 検索対象外	

機能名	種別	No.	該当箇所	STD V7.2	MID V8.0 ENT V8.0	NEO V3.5	desknet's NEO 詳細
		496	「ヘッダー検索> 利用者名簿検索」の検索対象	全ユーザー		ログインユーザーの代表組織内のメンバー	
		497	「簡易検索欄」の検索対象	×	×	ログインユーザーの代表組織内のメンバー	
		498	「サブウィンドウ> 利用者名簿検索」の検索対象	全ユーザー、選択中の部署		選択中の部署、選択中の部署以下、全ユーザー	
		499	利用者名簿機能が非表示に設定されている場合の、システム管理者のメニュー画面表示	(仕様変更)			従来は、[管理者設定>メニュー設定]にて、利用者名簿機能を非表示に設定した場合でも、システム管理者のメニュー画面には利用者名簿機能を必ず表示していましたが、desknet's NEOでは、システム管理者であってもメニュー設定の設定内容が優先されます。
	管理機能	500	組織管理を委任	×	×	○ V3.5より	利用者名簿の機能管理者が、管理組織の配下に組織を追加・編集できるようになりました。事業グループごとなど任意の単位で、ユーザーや組織の管理を委任できます。
アラーム	一般機能	501	「アラームの利用有無」設定	○	○	×	
安否確認	一般機能	502	災害時のお知らせ掲示板	×	×	○	緊急時専用の掲示板として管理者より通知される災害情報閲覧できるようになりました。
		503	避難経路、帰宅経路の検索	×	×	○	避難所や自宅への経路を検索できるようになりました。
		504	災害時の緊急連絡先表示	×	×	○	災害時の緊急連絡先を掲載できるようになりました。
		505	災害対策情報リンク集作成可能	×	×	○	情報収集のためのリンク集を掲載できるようになりました。
		506	安否状況を複数回報告	×	×	○	状況の変化に応じて、安否の報告を複数回行えるようになりました。過去の報告内容の履歴は一覧表示できます。
		507	代理回答	×	×	○	他の従業員の安否状況を代理で報告できるようになりました。
		508	スマートフォンから他の従業員の安否状況を確認	×	×	○	スマートフォンから他の従業員の安否状況を確認できるようになりました。
		509	スマートフォンからのお知らせの表示や経路検索が可能	×	×	○	スマートフォンから災害時のお知らせの確認や、経路の検索が可能になりました。
		510	組織ごとの安否確認メール配信	×	○	○	組織ごとに安否確認メールを配信できます。desknet's NEOに会社の組織を登録する際に本社や支社など、所在地別の組織編成とすることで、被災地域のみにも安否確認メールを送ることができます。
	管理機能	511	安否状況の未報告者への再送信	×	×	○	安否確認メール配信後、安否状況の登録を行っていない従業員のみに対して、再度確認メールを配信することができます。
		512	避難経路設定	×	×	○	避難経路の出発地と目的地を登録しておくことで、各従業員が安否確認機能のトップページから避難経路のルート検索を行うことができます。
		513	お知らせ設定	×	×	○	災害時の従業員へのお知らせを掲載できます。掲載したお知らせは、ネオツイ機能の「お知らせ」欄にも掲載されます。

機能名	種別	No.	該当箇所	STD V7.2	MID V8.0 ENT V8.0	NEO V3.5	desknet's NEO 詳細
		514	災害時の緊急連絡先設定	×	×	○	災害時に各従業員がどこに連絡すればよいかを知らせるために、防災管理者等の連絡先を掲載できます。 (掲載例) ◆東京本社 防災管理責任者：山田太郎 電話：090-1234-XXXX メール：taro@example.jp
		515	災害時に役立つリンク集の設定	×	×	○	災害時の情報収集に役立つリンク集を掲載できます。 (掲載例) ◆現在の状況を知る 首相官邸： ホームページ 内閣府： 防災情報 気象庁： 津波情報 地震情報 気象情報 洪水予報 国土交通省： 災害情報 川の防災情報 道路情報 総務省消防庁： 災害情報 生活密着情報
		516	安否報告状況のCSVダウンロード	×	×	○	【ダウンロード項目】ユーザーID、ユーザー名、コメント投稿者ID、コメント投稿者名、安否状況、コメント投稿、コメント、代表組織名、電話番号、メールアドレス
		517	緊急連絡先のインポート	○	×	○	緊急時に安否確認を送るメールアドレス、及び連絡先の電話番号をCSVファイルから一括登録できます。
		518	「安否確認管理」追加	×	×	○	
		519	安否確認メールのSMTP over SSL対応	×	×	○ V2.0より	安否確認メールの送信が「SMTP over SSL」に対応しました。
		520	安否報告時の「出社可否」記入欄	○	○	×	(廃止)
		521	携帯電話・スマートフォン用の防災管理者ページ	○	○	×	(廃止)
来訪者管理	一般機能	522	【来訪者管理】機能	×	○	○	
		523	来訪予定・履歴の一元管理	×	○	○	
		524	スケジュール機能との連携	×	○	○	予定登録時に、来訪者の情報を同時に登録できます。
		525	来客予定の印刷表示	×	○	○	
		526	応対者の内線番号、応対場所の表示	×	○	○	
		527	受付場所に応じた受付担当者の指定	×	○	○	
		528	オンタイムで受付業務の進行状況を管理（来訪待ち、応対者への連絡済 等）	×	○	○	
		529	過去の来訪履歴検索	×	○	○	
		530	検索期間の追加	×	×	○ V2.5より	来訪者情報の表示条件に「検索期間」が追加されました。表示する期間を1～7日間から選択でき、最大7日分の来訪予定を表示できます。
		531	受付状態の一括変更	×	○	×	(廃止)
	532	検索結果画面での受付状態変更	×	○	×	(廃止)	
533	受付担当者による応対場所や会社名の変更	×	○	×	(廃止)		
	管理機能	534	「来訪者管理」画面で、すべての応対場所の来訪者情報を一元管理	×	×	○	※通常の来訪者管理画面では、自分が担当している受付場所の来訪者のみ表示されます。
		535	受付状態設定	×	○	○ V3.5より	「受付状態」の選択肢を管理者が追加・編集できるようになりました。
管理者設定		536	ドラッグ&ドロップによるユーザーの所属組織変更	×	×	○	ドラッグ&ドロップでユーザーの所属組織を変更できるようになりました。

機能名	種別	No.	該当箇所	STD V7.2	MID V8.0 ENT V8.0	NEO V3.5	desknet's NEO 詳細
		537	ユーザー情報項目に生年月日等の「個人情報」項目追加	×	×	○	ユーザー情報として、性別・生年月日・住所・郵便番号を登録できるようになりました。 どの項目を表示するかは管理者設定画面から設定できます。
		538	[ユーザー情報項目]個人携帯	×	×	○	
		539	ユーザー写真登録時のビットマップ形式画像の使用	×	×	○	
		540	[基本設定]言語及びタイムゾーン	×	×	○	ユーザーインターフェースの英語切り替え、タイムゾーン、夏時間の適用有無を設定できるようになりました。 ※(V2) 夏時間に対応しました。 ※英語インターフェース切り替えに対応するためのリビジョンアップを3月以降に提供予定です。
		541	[ユーザー情報項目]言語及びタイムゾーン	×	×	○	
		542	ドラッグ&ドロップによるメニュー画面の機能並び替え	×	×	○	
		543	ロール設定（人を役割ごとにグループ化）	×	×	○	ロール機能の搭載により人の役割をグループ化できるようになりました。「役員」「部長」「課長」「正社員」「派遣社員」といったグループを作ることができ、各機能のアクセス権設定やインフォメーションの閲覧先などに利用できます。
		544	タイムゾーン設定	×	×	○	
		545	[ログイン画面デザイン設定] ログイン画面の壁紙設定	×	×	○	写真をアップロードすることにより、ログイン画面の背景画像を変更できるようになりました。
		546	[ログイン画面デザイン設定] ログイン情報入力欄の位置設定	×	×	○	ログイン画面デザイン設定を改善し、ログイン情報の入力位置を9箇所から選べるようになりました。 ※(V2.0より) 入力欄の配置箇所が3種類から、9種類に増えました。
		547	[スマートフォン] モバイルログイン設定	×	×	○	スマートフォン版でログインIDとパスワードを端末のブラウザに保存するかどうかを設定できるようになりました。「ログインID：保存」「パスワード：保存しない」と設定した場合、ユーザーがログアウトした後、次回ログインする際にパスワードの入力のみでログインできます。また、ブラウザがログイン状態を維持しておける有効期間を設定することもできます。
		548	[ユーザー情報CSVファイル]「夏時間」項目	×	×	○ V2.0より	ユーザー情報のインポート・エクスポートCSVに「夏時間」項目が追加されました。
		549	[スマートフォン] モバイルメニュー設定	×	×	○ V2.0より	スマートフォンからの利用を許可する・しないアプリケーションを設定できるようになりました。 スマートフォンからはスケジュールと設備予約のみ許可するなど、利用ポリシーに応じて柔軟に設定できます。
		550	[スマートフォン] 添付ファイルのダウンロードを制限	×	×	○ V2.0より	スマートフォン版にて、それぞれのアプリケーション単位で、添付ファイルのダウンロードを制限できます。 ワークフローに添付されたファイルは許可するが、キャビネットは拒否するなど、セキュリティ向上のための制御が行えます。
		551	[メールサーバー設定] 通知メールのSMTP over SSL対応	×	×	○ V2.0より	通知メールの送信が「SMTP over SSL」に対応しました。

機能名	種別	No.	該当箇所	STD V7.2	MID V8.0 ENT V8.0	NEO V3.5	desknet's NEO 詳細
		552	パスワードポリシーの強化	×	×	○ V2.5より	パスワードポリシーの設定項目を大幅に追加し、より安心できる環境を作ることが出来ます。管理者設定に「パスワードポリシー設定」が追加され、新たに以下のポリシーを設定することができるようになりました。 ・有効期限に任意の日数を指定する ・パスワードに含めなければならない文字種・文字数（数字、英大文字、英小文字、記号） ・前回のパスワードと異なる文字数 ・過去何回に利用したパスワードの利用禁止
		553	ログイン連続失敗時のログイン拒否	×	×	○ V2.5より	特定のユーザーが、ログイン時に一定回数連続してパスワードを間違えた場合に、そのユーザーをログイン拒否状態にすることができます。ログイン拒否状態は、以下いずれかで解除されます。 ・あらかじめ設定した解除時間（分）を経過した ・管理者がログイン拒否を解除した ・対象ユーザーのパスワードを変更した
		554	ユーザーの一時停止	×	×	○ V2.5より	休職や退職など、ユーザーの利用は停止したいが、そのユーザーが持つデータは削除せずに残しておきたい場合などに、ユーザーの利用を一時的に停止することができるようになりました。 利用停止中のユーザーは、ログインが行えなくなるほか、スケジュールや利用者名簿、各機能のユーザー選択画面などから表示されなくなります。 ※利用停止中のユーザーに設定されたログインIDと同じログインIDを持つユーザーは登録できません。 ※ユーザーの利用停止を行っても、登録されているユーザーライセンス数に変動はございません。
		555	ユーザーサポート窓口メニューの追加	×	×	○ V2.5より	オプションメニューに、desknet's NEOの製品サポート問合せ窓口を開く「ユーザーサポート窓口」アイコンを追加しました。会社名や連絡先、製品バージョンやサーバー環境の情報などが自動記入されますので、スムーズにお問合せいただけます。
		556	機能ごとの添付ファイルサイズ制限	×	×	○ V2.5より	それぞれの機能ごとに、1回でアップロードできるファイルサイズの容量制限を設定できるようになりました。 対象機能：管理者設定、スケジュール・設備予約、ToDo、ウェブメール、インフォメーション、ワークフロー、回覧・レポート、アンケート、文書管理、キャビネット、電子会議室、プロジェクト管理、メモパッド、議事録、ネオツイ
		557	ユーザー管理への役職名表示	×	×	○ V2.5より	ユーザーの一覧の項目に「役職名」の列を追加しました。「役職名」での並べ替えも可能です。
		558	パレットメニュー編集の操作性向上	×	×	○ V2.5より	パレットメニューデザイン設定で、メニューをパレットメニュー上に配置する際の、ドロップ可能領域を広げました。
		559	アクセスログの時間単位検索	×	×	○ V2.5より	アクセスログの検索・ダウンロードを時間単位で行えるようになりました。
		560	管理者設定メニューの見直し	×	×	○ V2.5より	階層分けされていたメニューをすべて展開表示し、すべての設定メニューにアクセスしやすくなりました。
		561	バージョン情報の追加	×	×	○ V2.5より	管理者設定メニューに「バージョン情報」が追加されました。製品のバージョン情報や、サーバーのOS環境の情報を確認できます。
		562	[ユーザー情報CSVファイル]「使用停止フラグ」項目	×	×	○ V2.5より	ユーザー情報のインポート・エクスポートCSVに「使用停止フラグ」項目が追加されました。

機能名	種別	No.	該当箇所	STD V7.2	MID V8.0 ENT V8.0	NEO V3.5	desknet's NEO 詳細
		563	共有メールアカウントの実行ログ取得	×	×	○ V3.0より	共有メールアカウントに対する「メール受信」「メール送信」「メール操作」「フォルダ操作」の実行ログを取得できるようになりました。管理者設定>アクセスログ設定から設定が、また管理者設定>アクセスログ検索から実行ログの検索が行えます。
		564	HTTPアクセスログへのパラメータ出力	×	×	○ V3.0より	ブラウザからWebサーバーに送信される各種リクエストについて、パラメータの一部がWebサーバーのアクセスログに出力されるよう修正しました。
		565	ユーザーの誤削除防止	×	×	○ V3.5より	誤操作によるデータの損失を防ぐため、管理者がユーザーの削除を行った場合に、一旦ユーザー情報の論理削除のみを行い、一定期間をおいてからデータの物理削除を行うようになりました。論理削除されたユーザーのデータは、見た目上は実際に削除されたものとして扱われます。データの物理削除が行われるまでの間は、管理者による削除の取り消し、また即時の物理削除を行うことができます。(データの保存期間は、管理者が1ヶ月~36ヶ月、または無期限に設定できます) ※論理削除された状態のユーザーも1ライセンスとして計算されます。
		566	事業所ごとの休祝日に対応	×	×	○ V3.5より	組織ごとに、週間休日・祝日を設定・表示できるようになりました。標準で 사용되는共通カレンダーのほか、週間休日と祝日を組み合わせで任意の休日カレンダーを作成できます。製造業やサービス業など、事業所別に休祝日が異なる場合や、海外拠点の現地カレンダーにも対応できます。 【スケジュール】 ・代表組織の休日カレンダーから祝日を表示 【設備予約】 ・設備の管理組織の休日カレンダーから祝日を表示 ・休日利用設定を許可しない場合に設備の管理組織の休祝日を利用 【タイムカード】 ・(就業状況)代表組織の休日カレンダーから祝日を表示 ・(出欠状況)選択組織の休日カレンダーから祝日を表示 【プロジェクト管理】 ・プロジェクトの管理組織(新設)の休日カレンダーから祝日を表示 【購買予約】 ・購買期間の「曜日単位の定期購読」の祝日として、購買予約の責任者の代表組織の休祝日を利用
		567	複数組織の機能管理	○	○	○ V3.5より	各機能の機能管理者が、所属組織だけではなく、任意に指定した組織の管理もできるようになりました。事業所単位で機能管理者を設置したい場合など、管理対象が複数の部署に渡る場合でも、範囲を限定して権限を委任できます。 また、desknet's NEO V3.5では、指定した組織の配下にある組織も管理対象に含めるかどうかを設定できます。
		568	オプションメニューアイコンのファイルサイズ拡張	(仕様変更) V3.0より			オプションメニューのアイコンとして登録できる画像ファイルのファイルサイズの制限を、最大10KBまで拡張しました。
		569	共有/個人ブックマークアイコンのファイルサイズ拡張	(仕様変更) V3.0より			共有/個人ブックマークのアイコンとして登録できる画像ファイルのファイルサイズの制限を、最大10KBまで拡張しました。

機能名	種別	No.	該当箇所	STD V7.2	MID V8.0 ENT V8.0	NEO V3.5	desknet's NEO 詳細
		570	組織インポートの際の、親子関係の指定方法	(詳細を参照のこと)			<p>複数階層の組織をCSVファイルインポートにより作成する際の、親組織の指定の方法を変更しました。</p> <p>【旧製品 (MID/ENT)】 親グループの組織コードを、子グループの組織コードの先頭に指定して組織の親子関係を作ります。 (例) [営業本部] (組織コード: AAA) ↳ [第一営業部] (組織コード: AAABBB)</p> <p>【desknet's NEO】 子グループの「親組織」項目に、組織名/組織システムID/企業内組織コードのいずれかを指定して、親子関係を作ります。 (例) [営業本部] ↳ [第一営業部] (親組織: 営業本部)</p>
		571	JavaScriptの使用有無設定	○	○	(仕様変更)	JavaScript必須となりました。
		572	メニュー表示方法設定	○	○	(仕様変更)	従来のデザイン設定画面から[画面の左側に表示する]、[画面の右上に小さく表示する]のいずれかを選択する設定は廃止し、パレットメニュー、およびスライドメニューに変更しました。
		573	CSVファイルによるユーザー情報インポート	○	○	(仕様変更)	<p>インポートにて以下を制限しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システム管理者を一般ユーザーに変更できません。 ・システム管理者を削除することはできません。
		574	オプションメニューのロゴサイズ	14×14ピクセル		19×16 ピクセル	
		575	管理者画面のセキュリティ	管理者パスワード		管理者権限	管理者画面の表示は、管理者ユーザーのみ可能となりました。これに伴い、管理者パスワードの入力は廃止となりました。
		576	各機能のデータ保存期間設定	機能ごと		1画面	各機能のデータ保存期間を1画面で設定できるようになりました。
		577	データ保存期間設定の最大保管期限	24ヶ月		36ヶ月	各機能のデータ保存期間の設定項目を「1～24ヶ月、及び無期限」から、「1～36ヶ月、及び無期限」まで拡張しました。
		578	メニュー使用有無の設定	○	○	(仕様変更) V2.0より	各機能の利用可否を部署ごとに設定する際、「特定の機能を、特定の部署だけで使用する」設定が簡単に行えるようになりました。特定部署のみで使用する以外に、まだ使っていない機能を試してみる時にも利用できます。
		579	[ユーザー情報項目]スカイプID・モバイルID	○	○	× (廃止)	
		580	[ユーザー情報項目]自宅Fax	○	○	× (廃止)	
		581	[ユーザー情報項目]PDA使用有無	○	○	× (廃止)	
		582	[ユーザー情報項目]「ログインID」の表示	○	○	× (廃止)	プロフィール画面へのログインIDの表示を廃止しました。
		583	[個人毎のアクセス権設定]「インフォメーション」項目	○	○	× (廃止)	インフォメーション[個人毎のアクセス権設定]の対象機能からインフォメーションを除外しました。
		584	ダイエット画面設定	○	○	× (廃止)	
		585	Skype設定	○	○	× (廃止)	
		586	日付入力設定	○	○	× (廃止)	各機能の日付入力欄がカレンダーからの選択方式に変更となったため、廃止しました。
		587	メニュー画面ロゴのカスタマイズ	○	○	× (廃止)	
		588	使用ディスク容量集計	○	×	× (廃止)	
アドオン	その他	589	iCalender連携	○	×	○	<p>desknet's NEOに登録した予定をiPhoneのカレンダーに表示できます。</p> <p>※desknet's NEO⇒iPhoneカレンダーへの一方方向の連携となります。</p>

機能名	種別	No.	該当箇所	STD V7.2	MID V8.0 ENT V8.0	NEO V3.5	desknet's NEO 詳細
		590	統合Windows認証連携 (Active Directory認証連携)	×	○ MID:無償 ENT:有償	○ 無償	統合Windows認証連携は標準提供となりました。
		591	スマートフォン版	○ 有償	○ 無償	○ 無償	スマートフォン版は標準提供となりました。
		592	Sワークフロー	×	○	(統合)	標準搭載の「ワークフロー」機能に、「組織内承認者」設定の追加、また、申請経路の部品に「所属組織階層」を追加し、「Sワークフロー」と統合しました。
		593	携帯電話 (HTML) 版	○	○	×	(廃止)
		594	vCard連携	○	×	×	(廃止)
		595	Outlook連携	○	×	×	(廃止)
		596	S!アプリ版 / iアプリ版	○	×	×	(廃止)
		597	デスクトップツールiCheck	○	×	×	(廃止)
スマートフォン版	機能有無	598	トップページ (ポータル機能)	×	×	○	スマートフォン専用のトップ画面には、その日のスケジュールや自分宛の伝言、承認が必要な申請など、自分に届いた最新の情報が表示されます。
		599	安否確認	×	×	○	
		600	ネオツイ	×	×	○	スマートフォンからも各機能のお知らせや、つぶやき、ダイレクトメッセージを閲覧・投稿できます。
		601	スケジュール	○	○	○	
		602	設備予約	○	○	○	
		603	ToDo	○	○	○	
		604	ウェブメール	○	○	○	
		605	伝言・所在	○	○	○	
		606	ワークフロー	○	○	○	
		607	回覧・レポート	○	○	○	
		608	インフォメーション	○	○	○	
		609	アドレス帳	○	○	○	
	610	メモパッド	○	○	○		
	611	キャビネット	○	○	○		
	612	利用者名簿	○	○	○ V2.5より	アドレス帳から、利用者名簿の内容を参照できるようになりました。利用者検索のほか、部署の階層を辿って利用者を探すこともできます。	
	613	仮払精算	○	○	×	(廃止)	
	614	タイムカード	○	○	×	(廃止)	
	615	電子会議室	○	○	×	(廃止)	
	616	プロジェクト管理	○	○	×	(廃止)	
	617	来訪者管理	×	×	×		
	618	議事録	×	×	×		
	619	文書管理	×	×	×		
	620	購買予約	×	×	×		
621	備品管理	×	×	×			
622	アンケート	×	×	×			
623	アラーム	×	×	×			
機能追加・改善	624	スケジュール：予定の色指定	×	×	○ V2.5より	予定への色指定ができるようになりました。	
	625	ウェブメール：詳細表示後の挙動の改善	×	×	○ V2.5より	メールの詳細から一覧に戻った際に、スクロールの位置を維持するようになりました。	
	626	ウェブメール：添付ファイルの転送	×	×	○ V2.5より	受信したメールの添付ファイルを転送できるようになりました。	
	627	安否確認：スマホからの安否確認メール一斉配信	○	○	○ V3.5より	安否確認の一斉配信ができるようになりました。緊急時に利用されることを考慮し、一斉配信から安否状況の確認にいたるまでのインターフェースも改善しています。	

機能名	種別	No.	該当箇所	STD V7.2	MID V8.0 ENT V8.0	NEO V3.5	desknet's NEO 詳細
		628	スケジュール：予定と設備の同時予約	×	×	○ V3.5より	予定の追加時に設備も設定できるようになりました。
		629	ウェブメール：メール一覧の表示改善	×	×	○ V3.5より	メール一覧の表示を改善しました。 ・差出人を追加しました。 ・添付ファイル有りのメールにアイコンを追加しました。 ・返信アイコンを追加しました。
		630	ウェブメール：メール間の前後移動が可能に	×	×	○ V3.5より	メール詳細画面から前後のメールへ遷移出来るようになりました。スワイプ操作（画面を左or右にスライド）でも遷移できます。
		631	電話番号への発信に対応	○	○	○ V3.5より	各画面に表示される電話番号から、直接発信できるようになりました。 ・アドレス帳 ・伝言・所在 ・利用者名簿